

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ 二次交通改善活動プラットフォーム

令和6年度 第2回全体会議資料

2025年3月12日（水）

- (1) 全体像のおさらい取組み内容 ...資料1
- (2) 令和6年度「共創・MaaS実証プロジェクト」の実施結果、次年度の展開 ...資料2
→ **出口戦略2** **出口戦略3** に該当
- (3) ANA 鳥取版「旅CUBE」の取組状況 ...資料3（別冊）
→ **出口戦略1** に該当
- (4) 人流分析の検討結果、次年度に向けた取組みの流れ ...資料4
→ **出口戦略2** に該当
- (5) 令和7年度取組み方針 ...資料5

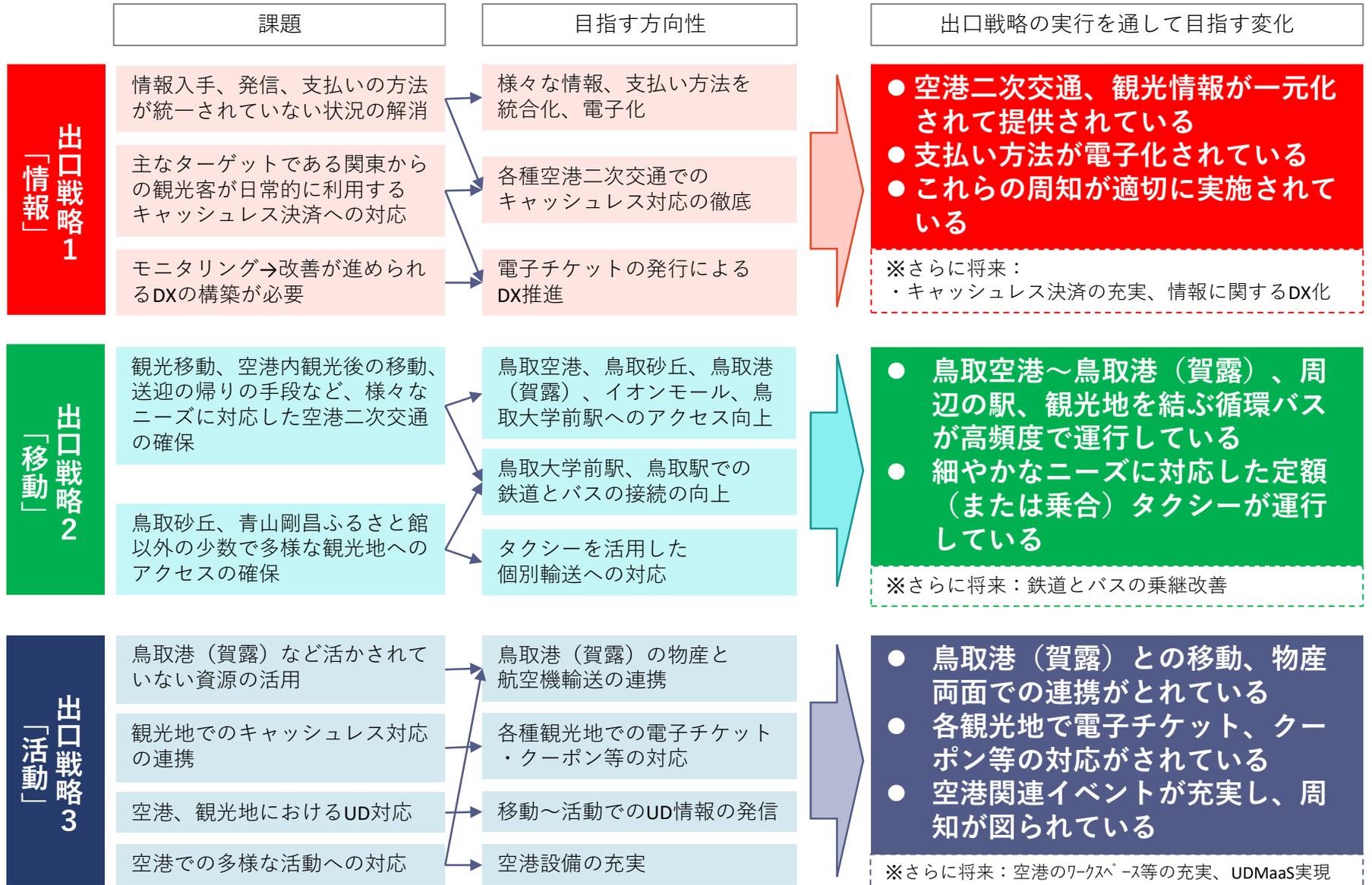
資料 1

地域交通戦略の全体像（おさらい）

P.2～9

① 空港二次交通の課題と出口戦略・目指す変化

(令和4年度とりまとめ)



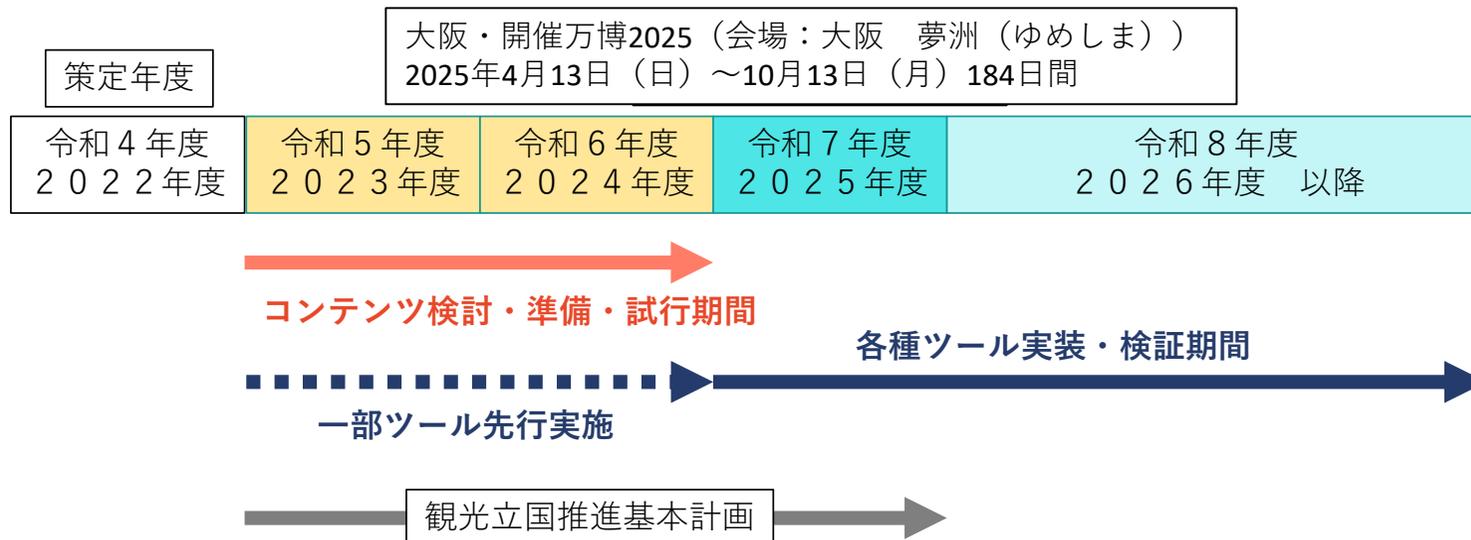
② 出口戦略の全体像

民間企業が主導となるプラットフォームの創設（令和4年度）

- 航空会社、県内交通事業者を含む地元・民間・学術・行政等の幅広い機関を構成員とした「鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム」を設置した。
- 空港二次交通の利便性向上をはじめ、鳥取方式の観光型MaaS等の実施に向けた「鳥取砂丘コナン空港航空機利用・地域交通戦略」を策定した。

令和5年度以降の取組スケジュール

- 2025年の大阪・関西万博をマイルストーンとして、戦略に盛り込んだ項目・内容を一つでも多く実装することを目指す！

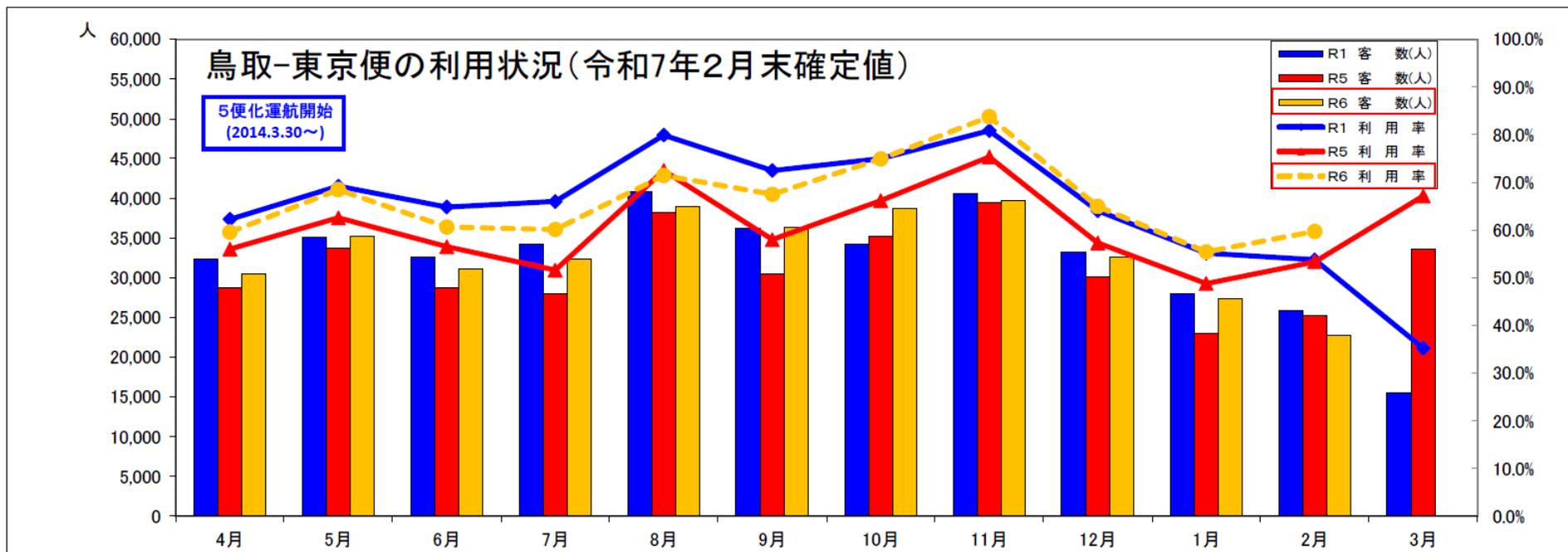


国は、令和7（2025）年を目標とし、新型コロナウイルス流行前（令和元（2019）年）訪日外国人旅行者数の過去最多（令和元（2019）年の3,188万人）の更新を目指すなど、積極的な姿勢を打ち出している。

参考：鳥取砂丘コナン空港の利用者数の推移

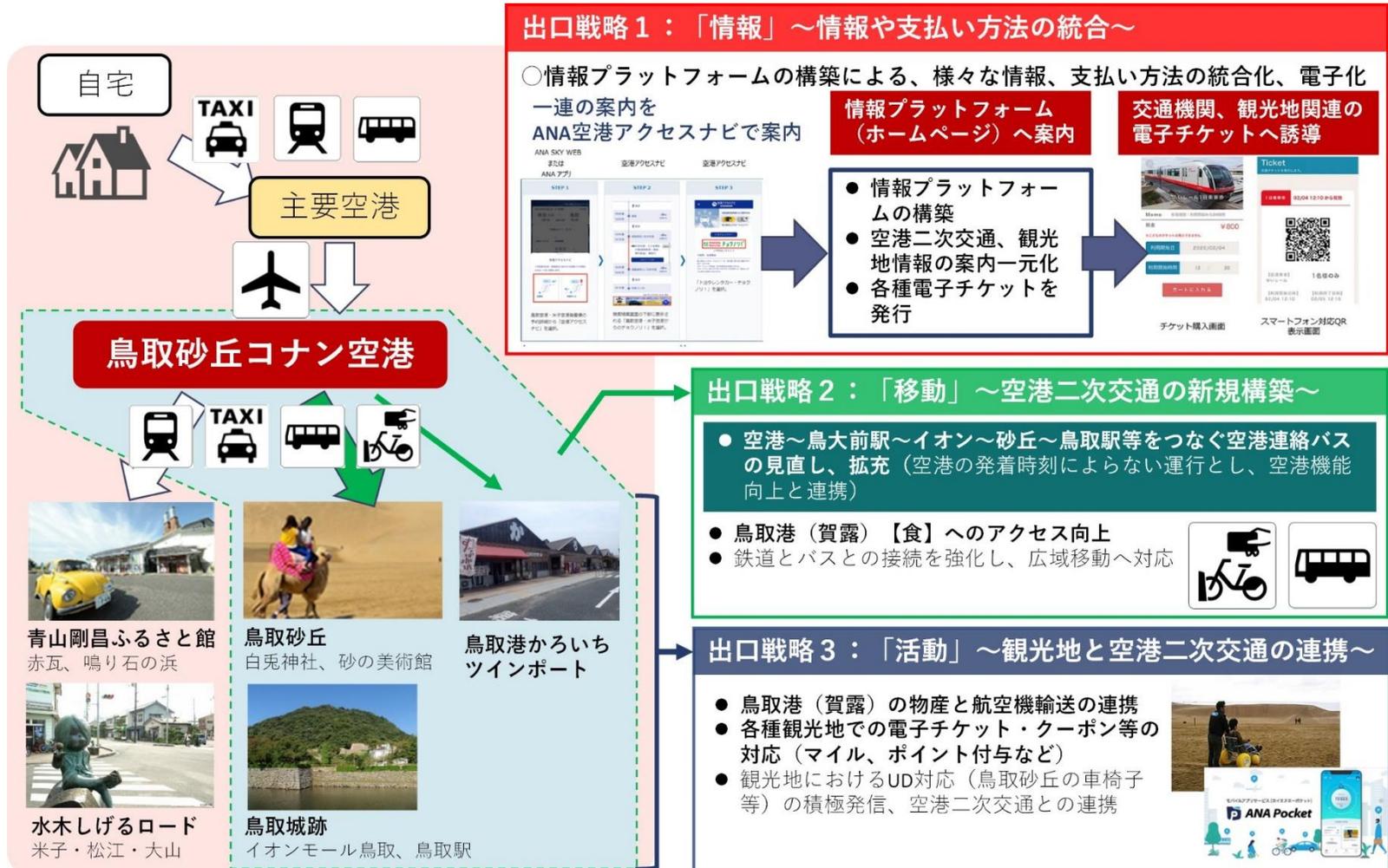
- 令和6年度は令和元年度比で97.9%まで回復→コロナの影響はほぼなくなった
- 特に5月、9～1月については令和元年度と同程度以上の利用者数となっている
- 令和7年度は、全国的な訪日外国人の増加、大阪・関西万博2025などを踏まえ、更なる増加が期待される

図 鳥取砂丘コナン空港 利用者数推移（県資料より）



② 出口戦略の全体像

出口戦略の全体像（一連の観光移動におけるイメージ）



3つの出口戦略が相互に連携し、情報でつながることで、データが蓄積・フィードバックされ、更なる利便性の向上を目指す（DXの推進）

③令和6年度の取組み内容

出口戦略ごとの取組内容

		検討・準備期間		本格実装・検証期間	
		R5年度 2023	R6年度 2024	R7年度 2025	R8年度 2026以降
情報 「情報」 出口戦略1	情報プラットフォーム (ホームページ)の構築	内容検討 使用システム選定	システム構築 試行期間 二次交通紹介チラシを先行作成	実装、適宜改善	
	各交通事業者、観光地の 電子チケットの構築	チケット内容検討 参加事業者調整	システム構築 試行期間 空港イベント等の電子化を先行実施	実装、適宜改善	
	情報プラットフォーム (ホームページ)、観光 情報等の周知強化	案内方法、媒体 の検討	バナー広告掲載、空港HP改修、PR動画作成・発信 二次交通紹介、空港イベント等のHP案内充実		
移動 「移動」 出口戦略2	空港、砂丘、イオン、鳥 取大学前駅等を結ぶ8 の字循環線の運行	かっこ空港ロード での試行運行 路線検討	各種協議、申請 準備、実験、一部試行期間	試行運行 本格運行	
	周辺鉄道路、観光地をタ ーゲットとした定額(又 は乗合)タクシーの運行	運行内容検討 参加事業者調整	許認可申請 法定会議	参画事業者による サービス開始、適宜拡大	
活動 「活動」 出口戦略3	鳥取港(賀露)と鳥取空 港の連携強化	連携方法検討	事業者間調整	サービス実装	
	各種観光地での電子チ ケット・クーポン等の対 応	チケット内容検討 参加事業者調整	システム構築 試行期間	参画事業者による 試行運用 本格実装	
	UD情報の発信、ANA空 港アクセスナビへの反 映	空港UD診断 周知方法検討	先行発信	内容充実、拡大	
	空港での食、物産、ワー クスペース等の充実	内容検討、早期実装が 可能な取組み確認	一部先行実施	内容充実、拡大 食、物産のイベント等の実施、案内充実	

令和6年度(2024)の主な取組

- 各出口戦略で作業部会を設置し、個別協議を行い、取組を推進
- 2025(令和7)年大阪・関西万博をマイルストーンとして、戦略に盛り込んだ項目・内容を一つでも多く実装することを目指す!

出口戦略1「情報」

- ANAが提供する「旅CUBE」の拡大、鳥取版の検討
✓ モデルコース、お得なチケット、観光情報等の提供
- 空港HP改善(ANA「旅CUBE」との連携の拡充)
- ANA「旅CUBE」と各観光HPとの連携
- タクシー(複数社化等)に関する調整
→資料3にてANAより報告

出口戦略2「移動」

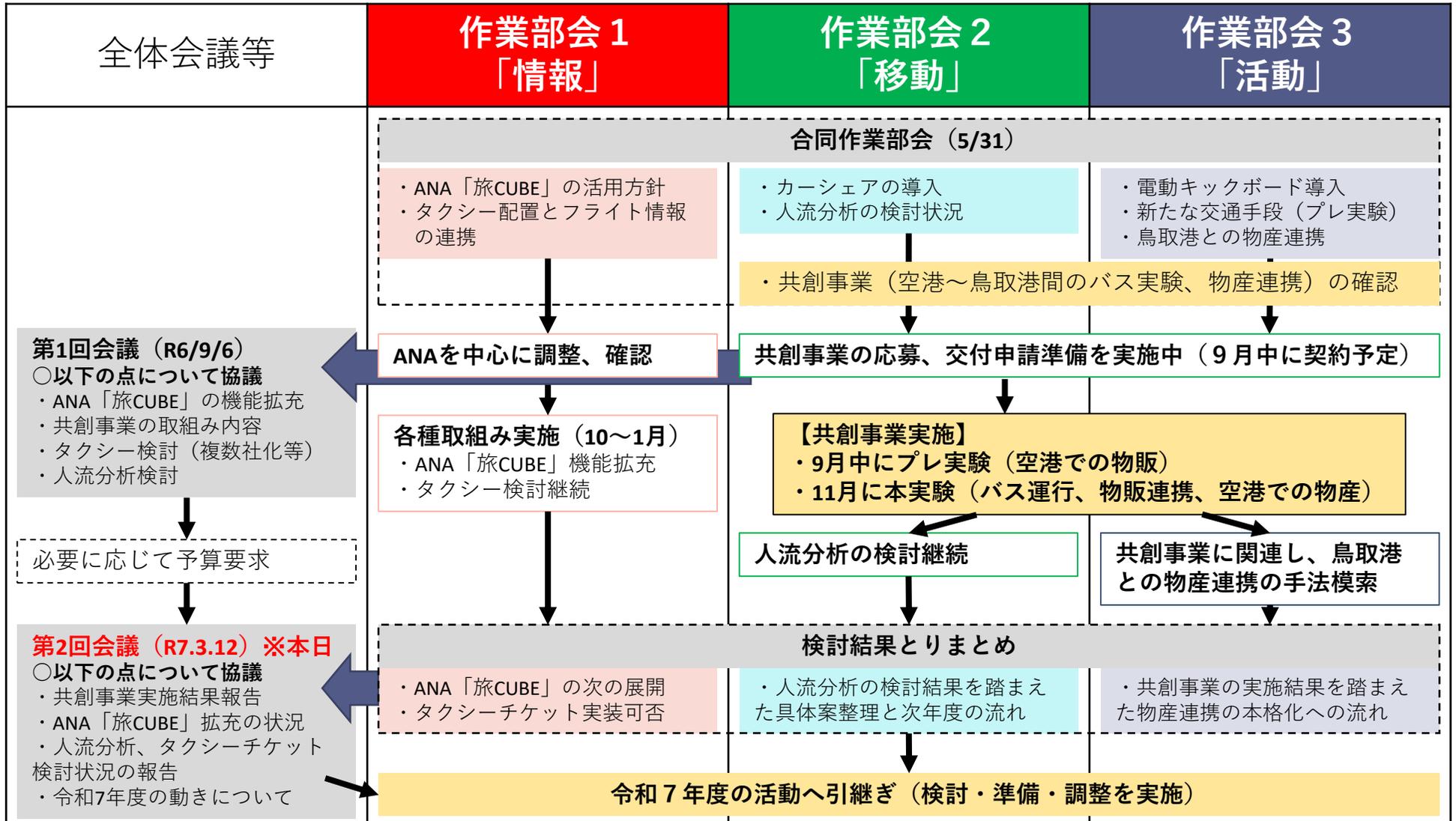
- 【共創事業】空港～鳥取港間のシャトルバス実証運行
→資料2にて説明
- 空港乗入バス路線のニーズ検証、必要に応じた見直し
→資料4にて説明

出口戦略3「活動」

- 【共創事業】空港と鳥取港の物産の連携
→資料2にて説明
- 共創事業に関連し、鳥取空港と鳥取港(賀露)の物産連携の強化策(試食、カタログ販売等)の検討
- 電動キックボードの導入

④ 令和6年度の全体スケジュール

- 令和6年度は、ANA「旅CUBE」の機能拡大、共創事業（空港～鳥取港間の移動、物産連携）が取組みの主となる。
- 機能拡大、共創事業の実施を踏まえ、各作業部会で今後の方向性を議論し、年明けの全体会議で次年度の進め方を提示する



⑤ 出口戦略ごとの取組みの現在地

出口戦略の実行を通して目指す変化

令和6年度末時点の状況（令和5～6年度の取組み成果）

「情報」
出口戦略1

- 空港二次交通、観光情報が一元化されて提供されている
- 支払い方法が電子化されている
- これらの周知が適切に実施されている

※さらに将来：
・キャッシュレス決済の充実、情報に関するDX化



ANAが提供する「旅CUBE」の拡大、鳥取版の開設

- ・ 空港HPとの連携強化（航空便に紐づいた二次交通が検索可能）
- ・ 空港連絡バスの電子チケット化
- ・ 旅CUBE鳥取版での観光地情報の発信、各観光HPとの連携開始
→R7年度は来訪者、県民による最大限の活用に向けた取組みを強化

・ タクシーの電子チケットについては調整が難航
→対応可否について運転手の意向を確認するなど、引き続き調整

「移動」
出口戦略2

- 鳥取空港～鳥取港（賀露）、周辺の駅、観光地を結ぶ循環バスが高頻度で運行している
- 細やかなニーズに対応した定額（または乗合）タクシーが運行している

※さらに将来：鉄道とバスの乗継改善



空港連絡バスでの電子チケット化による利便性向上

- ・ ANA「旅CUBE」との連携

空港～港を結ぶ移動手段の確保

- ・ 共創・MaaS実証プロジェクトで実験（R7年度も継続予定）
→鳥大前駅、イオンなども含め地域住民ニーズに対応する形で検討

・ タクシーの利活用（乗合タクシー等）については電子チケット化と合わせて引き続き調整

「活動」
出口戦略3

- 鳥取港（賀露）との移動、物産両面での連携がとれている
- 各観光地で電子チケット、クーポン等の対応がされている
- 空港関連イベントが充実し、周知が図られている

※さらに将来：空港のワークスペース等の充実、UDMaaS実現



観光客、来訪者が多い時期でのバス運行、物販の連携開始

- ・ R6での共創・MaaS事業ほか、GWやねりんピック期間中に実施
→R7年度も補助事業を活用し、万博に合わせて長期間実施を予定
→鳥取港のPR強化、品物強化など、アニメとのコラボなど充実予定



空港関連のイベント充実、鳥取港のイベントとの連携

- ・ 週末での空港イベントを積極的に実施、鳥取港のイベントとも連携
→R7年度も継続、万博や共創事業と連携

資料 2

令和 6 年度「共創・MaaS実証プロジェクト」 の実施結果

P.11～34

1. 事業実施概要

事業の基礎情報

実施主体	鳥取空港ビル株式会社
事業実施地域	鳥取市内
共創の類型	他分野共創
他分野共創の類型	物流・観光・その他（ 移動と物販の共創 ）
共創パートナー	<ul style="list-style-type: none"> ▶情報連携：<u>全日本空輸株式会社（経営戦略室M a a S推進チーム）</u> ▶交通連携：<u>日ノ丸自動車株式会社</u> ▶物販連携：<u>株式会社食のみやこ鳥取（地場産プラザ わったいな）</u> 上記の他、鳥取砂丘コナン空港と周辺地域等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォームのメンバー連携
運行形態	①バス車両による運行 ②実証運行としてバス利用運賃や輸送料金は無料で実施（販売は有料）
運行主体	日ノ丸自動車株式会社（実証事業の運営は鳥取空港ビル株式会社）

現状・課題

（地域交通の現状・課題に関する分析）

- 鳥取砂丘コナン空港と鳥取港(賀露)は鳥取県の航空や観光需要の重要拠点に位置付けられる。
- ツインポート間は1.6kmの距離に位置するが、既存バス路線は遠回りかつ2時間に1本程度のサービス水準にある。タクシーも港側の待機が無く、ツインポート間の公共交通による移動が困難である。
- 今回、相互を繋ぐ交通手段確保を、港の物産品・鮮魚を空港側へ輸送する方策とセットで取組むことで、交通事業の収支改善や持続可能な地域交通、地域住民の利用促進等を目指していく。
- 本取組みについて、「鳥取砂丘コナン空港と周辺地域等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム」の関係者会議でも本課題への対応として、「**移動と物販の共創**」の取組みの方向性を共有している。



出典：鳥取県HP

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

・有（鳥取県東部地域公共交通計画）
このほか、鳥取砂丘コナン空港航空機利用・地域交通戦略[令和5年3月]にも事業位置づけ

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

・無

運輸局・運輸支局への事前相談

中国運輸局交通政策部
交通企画課 に事前相談済み

1. 事業実施概要

事業の全体像・共創の仕組み



情報連携

航空・情報関係
全日本空輸株式会社・経営戦略室 MaaS推進チーム (ANA・MaaSプラットフォーム・旅CUBEへの連携)
共創パートナーの負担
運行および販売の実証事業における情報連携 (情報連携、情報発信、利用促進への寄与)

情報
連携

実施主体

鳥取空港ビル株式会社

共創プラットフォーム内の実施主体（空港からの二次交通を活性化させていく主体）

ツインポート間
(鳥取空港-鳥取港)の連携強化

移動と物販の共創

空港代理販売
(実証)

運行
委託

運行
実施

販売物
貸与



運行主体 (交通事業者)



販売連携 (物販関係者)

(既存の会議体)

関係者連携

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ
二次交通改善活動プラットフォーム

【構成員 (令和4年度より)】鳥取大学、ANAホールディングス、日ノ丸自動車、日本交通、鳥取ハイヤー協同組合、西日本旅客鉄道、ニッポンレンタカー、商工会議所、商工連合会、観光コンベンション協会、麒麟のまち観光局、コナン・クリエイション、空の駅オヤジの会、空の駅女子会、鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、北栄町、湯梨浜町、鳥取県、鳥取空港ビル株式会社、八千代エンジニアリング株式会社 (コンサルタント)

交通事業者

日ノ丸自動車株式会社
(地元の交通事業者と連携し実施)

共創パートナーの負担

実施主体からの実証運行委託を受けての実証運行の実施
(概ね20日間程度の運行実験を想定)

販売物
輸送
依頼

輸送

港関係・物販関係

株式会社食のみやこ鳥取 (地場産プラザわたいな)
(賀露中央海鮮市場協同組合からいち)
(鮮魚や特産物販売所と連携・協働し実施)

共創パートナーの負担

実施主体への販売実証に向けての商品提供
(概ね20日間程度の販売実験を想定)

取組の概要

(事業の概要)

○ 鳥取空港と港関係者、交通事業者や鮮魚や特産物販売所が連携・協働し、移動手段の確保策、物販促進策としてヒト・モノを運ぶ連携策や情報発信策をもって、鳥取空港と港の一体化、活性化、交流促進の実現、持続可能な構築を目指す。

(地域の関係者との連携・協働)

○ 空港ビル株式会社に加え、交通事業者と港の物販販売者が参画することにより、空港と港間の交通手段整備とともに、港の販売物の空港への輸送の効率化など、人流と物販両方の取り組みが実現可能となり、持続可能な交通確保につながる。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

○ バス・タクシー事業者を含めたプラットフォームで協議を行い、既存路線バスやタクシー活用（貨客混載）につなげる。ANAプラットフォーム旅CUBEとの連携など、情報連携により利用促進も狙う。

ツインポート間(空港-港)の移動・物販連携強化



物販量の増加、拠点間利用者数の増加
(持続可能な地域交通の実現)

1. 事業実施概要

事業実施手順・スケジュール

(役割分担)

	役割分担	備考
 ▶実施主体: 鳥取空港ビル株式会社	・全体の事業の運営	
 ▶交通連携: 日ノ丸自動車(株)	・空港と港間の交通手段整備、運行(ヒトを運ぶとともにモノも運ぶ)	
 ▶物産連携: 地場産プラザ わったいな	・販売連携(空港販売に向けた販売物提供)	
 ▶物産連携: 賀露中央海鮮市場協同組合 かるいち	・販売連携(空港販売に向けた販売物提供)	
 ▶情報連携: 全日本空輸株式会社(経営戦略室MaaS推進チーム)	・ANA旅CUBEへの情報連携により、二次交通利用や物販利用の動機付け	
▶既存会議: 鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム	・関係者協議 ・情報、交通、活動の視点で連携	

(スケジュール)  9月(梨収穫期)に販売のみプレ実証実施

 11~12月のカニシーズンに実証実験実施

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
 ▶実施主体: 鳥取空港ビル株式会社	関係者協議		プレ実施準備	プレ運営	運行準備	実証実験運営	検証	展開検討まとめ		
 ▶交通連携: 日ノ丸自動車(株)				運行準備		実証運行	本格に向けた課題等整理			
 ▶物産連携: 地場産プラザ わったいな			販売準備	プレ販売	販売準備	販売連携実証	本格に向けた課題等整理			
 ▶物産連携: 賀露中央海鮮市場協同組合 かるいち(候補)			販売準備	プレ販売	販売準備	販売連携実証	本格に向けた課題等整理			
 ▶情報連携: 全日本空輸株式会社(経営戦略室MaaS推進チーム)				情報連携準備		情報プラットフォーム連携				
▶既存会議: 鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム	関係者協議、関連施策検討、実施									

1. 事業実施概要

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

○鳥取砂丘コナン空港は、1日当たり発着あわせ1,000人前後の航空便利用が存在する。(R6年11月は月あたり約3万9千人、日あたり1,300人程度が利用) ツインポート間(空港と港)が約1.6kmと近い好条件を生かし、両拠点間の移動促進を図ることで、既存バス路線の利用促進や維持、新たなモビリティ導入、タクシー活用などの展開が可能となる。人の移動とモノの移動をセットで扱い、交通事業の収支改善や持続可能な地域交通、利用促進等を目指していく。

(地域全体に及ぶと想定される効果)

○両拠点間の移動促進策、情報や物販の取り組みによる魅力向上により、空港、港相互の利用促進、利用者増効果が期待できる。
○空港利用者は全体で出発便5便、到着便5便あり、東京方面へのお客であれば待機時間が1時間程度発生しており、その間に買い物等の利用の誘導。また、物販を空港側で実施するということで、空港の待合客の時間の有効活用、買い物誘導といった効果が期待できる。港の物販は17時に閉店となる。一方、空港の最終便は18時30分以降であり、物販サイドからも、販売時間の増加や、航空終発便利用客の取り込み効果としての期待も大きい。
○港は生活利用拠点(買い物等)、空港は地域活動拠点(多世代の活動・交流)にもなっている。近隣には住宅地も広がり、近隣の鉄道駅や大型商業施設(イオン)への路線延伸など、近隣地域全体としての公共交通網の構築、地域住民が外出しやすい交通環境の効果を狙っていく。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ(複数選択可)、当該内容について上記に具体的に記載してください。

○	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	○	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備		通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

○実証運行・販売の効果検証に基づき、本格実施に向けて、既存の乗合バス事業者、乗用タクシー事業者と協議を進め、本格実行を目指す。
○ツインポート(空港と港)の一体化と移動の促進による交通需要増とあわせ、荷物輸送に伴う輸送サービスの収益増を目指し、持続可能なサービスを狙う。
○実証運行の検証をもとに路線整備につなげる。移動手段の他、モノの輸送(貨客混載)なども含め、集積性の確保、持続可能な交通につなげる。
○本格事業においては、鳥取空港ビル株式会社からの資金支援、物流など近隣施設からの委託や協賛による資金確保なども含め、本格実施を目指していく。

資金面	・鳥取空港ビル株式会社からの資金支援、物流など近隣施設からの委託や協賛による資金確保なども含め、本格実施を目指していく。 ・交通の整備や運行の資金確保の方法については、既存会議体(プラットフォーム会議)を構成する行政、自治体等と協議を継続する。
人材面(運転手の確保)	・交通と物販の連携により、交通サービスと物販物の物流サービスの効率化を図る。 ・運転手や販売員不足を補う方法について、既存会議体(プラットフォーム会議)を構成する行政、自治体等と協議を継続する。

2. 9月のプレ実験実施内容、結果

実施概要

実施日程	2024年9月21日（土）～23日（月）の3日間 ※3連休中
時間帯	9月21日（土）：午後1時～午後6時 9月22日（日）、23日（月）：午前10時～午後6時
実施場所	鳥取砂丘コナン空港 1階ロビー（ANAカウンターそば）
品物	果物（20世紀梨）、農産加工物、海産加工物、お菓子など
支払い方法	現金のみ
周知方法	空港内にポスター掲示

販売場所



販売場所の様子



2. 9月のプレ実験実施内容、結果

実施風景

周知用に作成したポスター

9月21日~23日の3日間限定
鳥取県特産の梨などを
鳥取空港で限定販売！！

鳥取のお土産に
ぜひお買い求め下さい

鳥取県産 新鮮市場
鳥取産 買える農・海産物が
鳥取空港で購入できます

鳥取県産 新鮮市場
鳥取産 買える農・海産物が
鳥取空港で購入できます

鳥取砂丘コナン空港
直売フェア

販売日時 9月21日(土) 13~18時
22日(日) 10~18時
23日(月) 10~18時

販売場所 鳥取砂丘コナン空港
1F案内カウンター横

品物 梨・海産物加工品・お菓子など
※お支払いは現金のみです。数に限りがございます。

鳥取港のお買い物情報 鳥取港(空港から車で約5分)ではさらに多くの商品を取り扱っています。
お帰りの前にぜひ鳥取港にもお立ち寄りください。
※直売所にお立ち寄りの方には、**からいちクーポン券**を差し上げます]

本イベントは、国の補助事業
「令和6年度 共創・MaaS実証プロジェクト」
の一環で実施しています。
イベント情報の詳細は以下をご覧ください。
<https://www.tij-ap-bid.co.jp/news>

鳥取空港HP 鳥取県HP からいちHP



売れ行きに応じ追加搬入



販売風景



プレ実験は車両で販売物輸送



海産物など多様な販売

2. 9月のプレ実験実施内容、結果

購入者の声

- 土日祝の3日間での売り上げは、10万円程度、梨（20世紀梨）の売上が主力で、そのほかに牛骨ラーメンや板わかめなどが好調

購入者の声

- 梨を買いたいと思ったが、重いため、旅行の途中で購入がしづらい。このため、帰路の鳥取空港で購入出来て良かった。（購入され、トランクケースに梨を入れて、荷物預けされていた）
- 関西からのクルマでの旅行中。空港にコナンを見に来た。
- どの梨がおいしいのか？という聞かれることが多数
 - 緑色が新鮮で、しゃきっとして、よりみずみずしい
 - 黄色がかった玉は、緑色より熟れていて、甘みがまっている"

得られた知見

- 鳥取県の夏の名物として梨（販売時は20世紀梨）があり、県内各地で購入可能であるが、重いため、旅行中で購入をためらう方が多く、出発前に空港で買ってよかったという声が見られた。
- 売上としても梨が主力となっており、インパクトのある商品として注目を集めることが多かった。
- 一方、海産物加工品は手を出しにくい点もあり、売れ行きは不調であった。また、お菓子類については、空港内の他のショップで同様のものが購入可能であることもあり、売れ行きは不調であった。
- 果物などの生鮮食品は、毎日（場合によっては1日複数回）の仕入れが必要であり、空港から近距離（1.6km、車で5分程度）にある鳥取港（賀露）があることで、密な連携が可能と確認できた。

- **季節の旬な品物を選定できれば、旅行中に買えなかった方をターゲットに、一定の売上を得られる点を確認できた。一方、やみくもに商品を並べはせず、商品のある程度絞り込む必要性を実感した。**
- **品物搬送についても、空港と鳥取港の立地を生かした柔軟な対応が可能と確認できた。**
- **11月の本実験ではかにシーズンとなり、商品保管の観点から海産系の生ものの販売は難しく、シャトルバスと連携し、如何に空港から鳥取港へ旅行者の誘導を行うかが肝となる点を確認できた。**

3. 11～12月の本実験実施内容

実施概要

実施日程	2024年11月2日（土）～2024年12月15日（日）のうち、金土日祝を中心とした20日間
時間帯	シャトルバス運行：午前9時～午後5時 物販：午前10時～午後6時
実施場所	物販：鳥取砂丘コナン空港 1階ロビー（ANAカウンターそば） シャトルバス：鳥取砂丘コナン空港～鳥取港（かろいち） ※かにかくロードを走行
品物	果物（王秋梨、あたご梨）、農産加工物、海産加工物、お菓子など
支払い方法	物販：現金のみ シャトルバス：無料
周知方法	空港内にポスター掲示、他にANA「旅CUBE」や空港インスタグラムでPR予定

スケジュール

11月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

シャトルバス、物販 実施日

- ・基本は11月2日（土）以降の金土日で運行
- ・11月4日（月）は祝日で運行
- ・12月13日（金）は運行しない（20日間の制約の関係）

3. 11~12月の本実験実施内容

本実験全体概要

(1) 到着出口、インフォメーション

出た瞬間、鳥取港（賀露）を全面的にアピール（ポスター、コンテンツ、呼びかけスタッフ）
かにっこシャトルバスを案内（とにかく鳥取港へ誘導）
かろいち割引チケットなど案内



ポスター活用
(鳥取空港・賀露の印象付け)



案内スタッフ衣装
(鳥取県よりレンタル)



鳥取砂丘コナン空港 × 鳥取港(賀露)
直売フェア & 無料シャトルバス運行!!
R6/11/2(土)~12/15(日)
の期間のうち金土日祝
※12/13(金)は実施しません

(3) 販売



物販の様子



物販の様子

(2) バス乗り場



かにっこシャトルバス
(カニまで1.6km、5分)として強かに誘導

鳥取港
・賀露へ!



3. 11～12月の本実験実施内容

到着ロビー案内



案内所の様子

①ポスター (大)



無料シャトルバス & 直売フェア **案内所**

鳥取砂丘コナン空港～鳥取港(賀露)

港まで無料バスで約5分 秋の旬を堪能しよう

②シャトルバス時刻表 (掲示用)



鳥取砂丘コナン空港～鳥取港(賀露)



無料シャトルバス 時刻表



291便
8:15着



293便
10:40着



295便
14:45着



296便
11:20発



298便
15:25発



300便
18:45発

鳥取空港 → 鳥取港		鳥取港 → 鳥取空港	
空港発	鳥取港着	鳥取港発	空港着
9:00	9:05	9:15	9:20
9:30	9:35	9:45	9:50
10:00	10:05	10:15	10:20
10:30	10:35	10:45	10:50
11:00	11:05	11:15	11:20
11:30	11:35	11:45	11:50
休憩			
13:30	13:35	13:45	13:50
14:00	14:05	14:10	14:15
14:20	14:25	14:30	14:35
14:40	14:45	14:50	14:55
15:10	15:15	15:20	15:25
休憩			
16:00	16:05	16:10	16:15
16:30	16:35	16:45	16:50

3. 11~12月の本実験実施内容

シャトルバス運行内容



車両：マグネット掲示

- ・ 30分間隔で実施、一部20分間隔で運行
- ・ 品物を運搬



商品運搬の様子

3. 11～12月の本実験実施内容

周知・PR

チラシ

＼鳥取県の特産品を鳥取空港で限定販売！／



鳥取砂丘コナン空港 直売フェア

鳥取港で買える農・海産物が鳥取空港で購入できます。鳥取のお土産にぜひお買い求めください。

日時 R6.11.2(土)～12.15(日) **場所** 鳥取砂丘コナン空港
 の期間のうち**金土日祝** 1Fロビー内
 13:00～18:00 ※12月13日(金)は実施しません

品名 梨・加工品・お菓子など ※お支払いは現金のみ、数に限りがございます。

お得情報 鳥取港(空港から車で約5分)ではさらに多くの商品を取り扱っています。お帰りの前にぜひ鳥取港にもお立ち寄りください。
 ※直売所にお立ち寄りの方には、**かるいちクーポン券**を差し上げます。

鳥取砂丘コナン空港⇄鳥取港(賀露)

無料シャトルバス運行!!

日時 R6.11.2(土)～12.15(日)
 の期間のうち**金土日祝**
 ※12月13日(金)は実施しません

乗り場 鳥取空港 → 鳥取空港1Fロビー
 鳥取港 → かるいち駐車場

鳥取港までわずか5分!
 鳥取港で秋の旬を堪能しよう!

※ご搭乗のお客様は出発時刻の20分前に保安検査場を通過してください。乗り遅れにご注意ください。

〈営業時間〉 かるいち : 9:00～17:00(一部期間16:00まで)
 わったいな : 9:00～17:00

空港発	鳥取港発
9:00	9:15
9:30	9:45
10:00	10:15
10:30	10:45
11:00	11:15
11:30	11:45
運休	
13:30	13:45
14:00	14:10
14:20	14:30
14:40	14:50
15:10	15:20
運休	
16:00	16:10
16:30	16:45

【問い合わせ】鳥取空港ビル(株) 0857-28-1402

SNS、HP等：
 インスタ、ANA「旅CUBE」で案内

掲載バナー

金土日 11/2 ~ 12/15 **鳥取砂丘コナン空港～鳥取港(賀露)**
無料シャトルバス(港へ約5分) 運行!

ANAの旅CUBEの
 バナーで掲載しPR



旅CUBE for ANA

経路検索 スケジュール 予約 メニュー

旅CUBEで新しい航空券購入方法を体験しませんか?
 11月30日までマイルプレゼントキャンペーン中
 詳しくはこちら▶

出発地 最寄り駅や自宅などの出発地

目的地 宿泊施設や観光地などの目的地

2024年10月30日(水) 14:36 出発

空港到着時間: 1時間前

往復検索 スピード 航空オプション 鉄道 クルマ バリアフリー情報

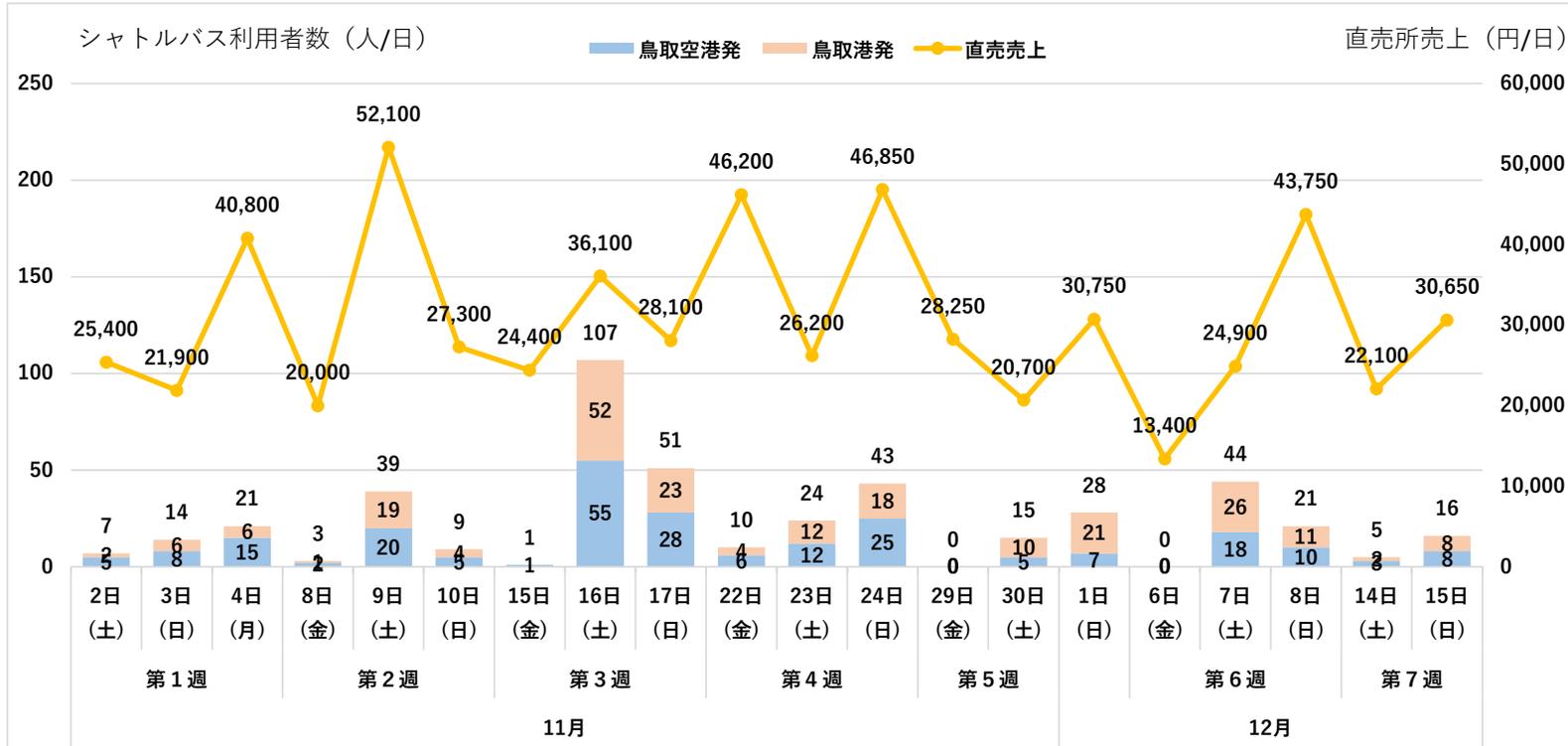
検索

3. 11~12月の本実験実施内容

実験結果【概要】

- 物販売上：20日間合計で61.7万円（1日平均3万円強）
- シャトルバス利用：20日間合計で458人（1日平均23名）
- 物販について：売り上げのうち梨の比率が約6割、東京では11月以降に梨の購入は難しく、期間通して堅調な売り上げを維持
その他、牛骨ラーメンやぼて柿、らっきょう関連商品、かにみそ、板わかめなど、鳥取県の特産品が好調
- シャトルバスと連携することで商品運搬も円滑に実施（毎週初日午前中に運搬、不足商品は都度連携とって搬入）

■日別のシャトルバス利用者数、物販売り上げの状況



3. 11～12月の本実験実施内容

実験結果【シャトルバス時間帯別利用者数】

- 往復ともに日中（11～14時台）での利用が多く見られる
- 金土日の週末で運行したが、金曜の利用は少なく、土日に利用が集中
- 往路は11時台の利用が多く、10時40分に東京便が到着後、鳥取港への移動が多く見られる
- 復路は13～14時台の利用が多く、15時25分発の東京便で帰る方が、その前に鳥取港に行くために利用している
- 9～10時台、16時台は利用が少ない

■鳥取砂丘コナン空港→鳥取港（かろいち）

時刻		期間中延べ人数
空港発	港着	
9:00	9:05	15
9:30	9:35	12
10:00	10:05	7
10:30	10:35	19
11:00	11:05	40
11:30	11:35	29
13:30	13:35	28
14:00	14:05	11
14:20	14:25	13
14:40	14:45	16
15:10	15:15	17
16:00	16:05	19
16:30	16:35	7
合計		233



曜日別延べ人数		
金	土	日
0	6	9
0	10	2
0	5	2
1	2	16
5	19	16
1	10	18
2	11	15
0	0	11
0	11	2
0	16	0
0	16	1
0	12	7
0	0	7
9	118	106



曜日別1日平均人数		
金	土	日
0.0	0.9	1.1
0.0	1.4	0.3
0.0	0.7	0.3
0.2	0.3	2.0
1.0	2.7	2.0
0.2	1.4	2.3
0.4	1.6	1.9
0.0	0.0	1.4
0.0	1.6	0.3
0.0	2.3	0.0
0.0	2.3	0.1
0.0	1.7	0.9
0.0	0.0	0.9
1.8	16.9	13.3



東京便	
鳥取発	鳥取着
	8:15着
11:20発	
	10:40着
14:45着	
	15:25発
	18:45発

■鳥取港（かろいち）→鳥取砂丘コナン空港

時刻		期間中延べ人数
港発	空港着	
9:15	9:20	2
9:45	9:50	7
10:15	10:20	12
10:45	10:50	9
11:15	11:20	11
11:45	11:50	22
13:45	13:50	41
14:10	14:15	56
14:30	14:35	20
14:50	14:55	13
15:20	15:25	15
16:10	16:15	16
16:45	16:50	1
合計		225



曜日別延べ人数		
金	土	日
0	0	2
0	1	6
0	3	9
0	7	2
0	3	8
1	11	10
2	18	21
0	39	17
2	10	8
0	6	7
0	10	5
0	15	1
0	0	1
5	123	97



曜日別1日平均人数		
金	土	日
0.0	0.0	0.3
0.0	0.1	0.8
0.0	0.4	1.1
0.0	1.0	0.3
0.0	0.4	1.0
0.2	1.6	1.3
0.4	2.6	2.6
0.0	5.6	2.1
0.4	1.4	1.0
0.0	0.9	0.9
0.0	1.4	0.6
0.0	2.1	0.1
0.0	0.0	0.1
1.0	17.6	12.1



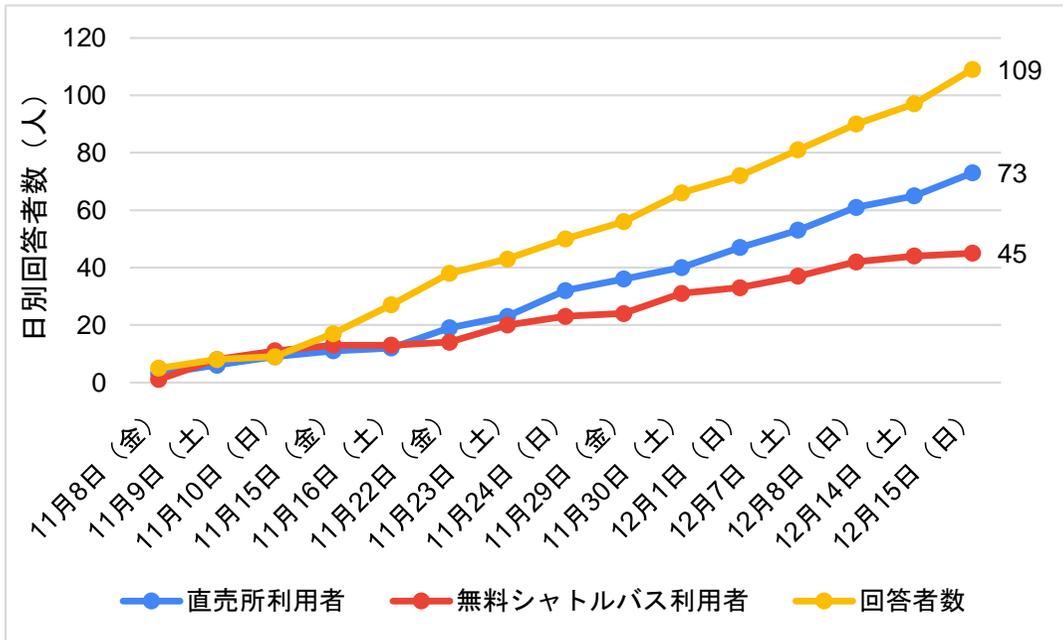
東京便	
鳥取発	鳥取着
	8:15着
11:20発	
	10:40着
14:45着	
	15:25発
	18:45発

4. 本実験期間中の利用者アンケート調査結果

シャトルバス利用者、直売所利用者アンケート結果

- 実験期間中（11月8日（金）～12月15日（日）でシャトルバス利用者、直売所利用者にアンケート調査を実施（WEB回答方式）
- 回答された方にはコナンのポストカードを贈呈
- 回答者数は109名（直売所利用者73名、無料シャトルバス利用者45名（両方利用した方がいるので合計値は合わない）

■直売所利用者、無料シャトルバス利用者の日別回答者数



■アンケート案内はがき

アンケート調査ご協力のお願い

直売フェア、無料シャトルバスについてご意見をお聞かせください。ご協力よろしくお願いします。

右の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、ご回答ください。

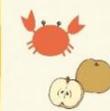
回答用二次元コード



回答された方にはコナンのポストカードを差し上げます！（配布日当日限り有効）

※アンケート完了画面を空港1階 直売所スタッフにお見せください

鳥取砂丘コナン空港 × 鳥取港(賀露)
直売フェア & 無料シャトルバス運行!!



R6/11/2(土)～12/15(日)の期間のうち金土日祝

※12/13(金)は実施しません



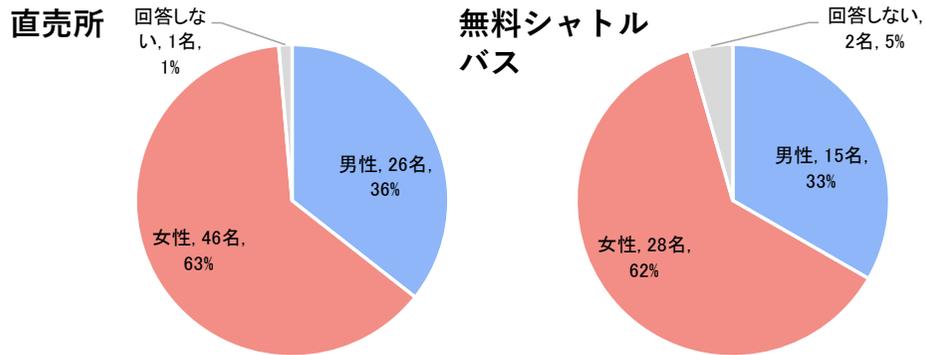
※回答は統計的に処理し、個人を特定するような情報は公開しません
実施主体：鳥取空港ビル株式会社

4. 本実験期間中の利用者アンケート調査結果

シャトルバス利用者、直売所利用者アンケート結果

(1) 性別

- 直売所、無料シャトルバス利用者ともに女性が多い



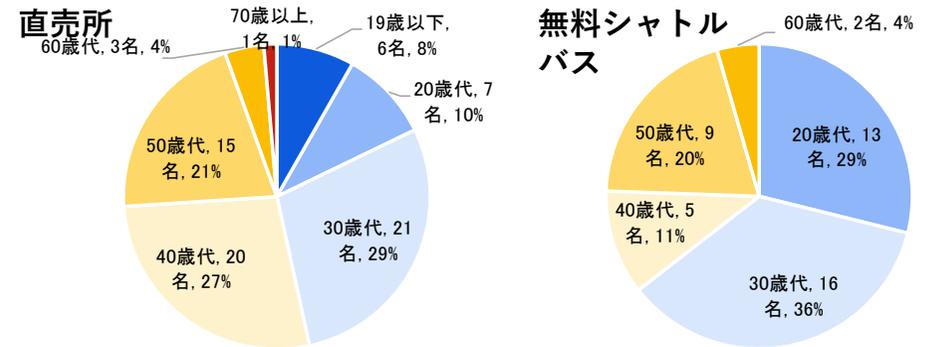
(3) 居住地

- 関東以北（特に関東地方）の居住者が半数を占めている
- その他は近畿地方、鳥取市内の方が多い

お住まい	直売所利用者		無料シャトルバス利用者	
	回答者数	比率	回答者数	比率
関東以北	36	49%	23	51%
近畿地方	12	16%	1	2%
鳥取市内	6	8%	7	16%
中部地方	6	8%	6	13%
中国地方	5	7%	1	2%
四国・九州	2	3%	2	4%
県内（鳥取市除く）	2	3%	1	2%
海外（台湾）	4	5%	4	9%
総計	73	-	45	-

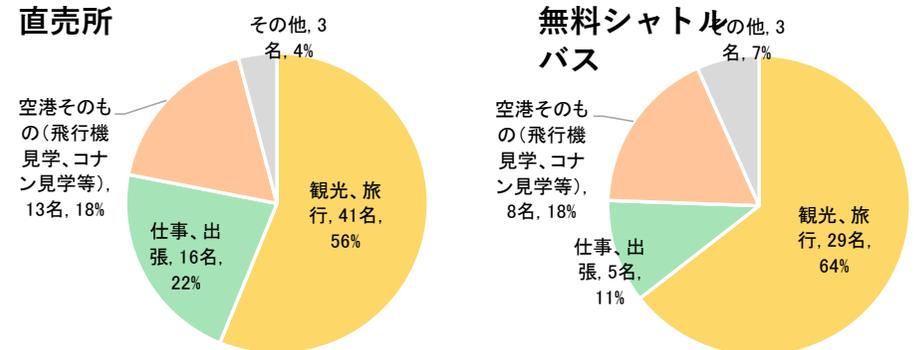
(2) 年代

- 20～50歳代の来訪、利用が主である



(4) 鳥取空港の来訪目的

- 観光、旅行での来訪が過半数であり、続いて仕事や出張、コナン目的の方が多い

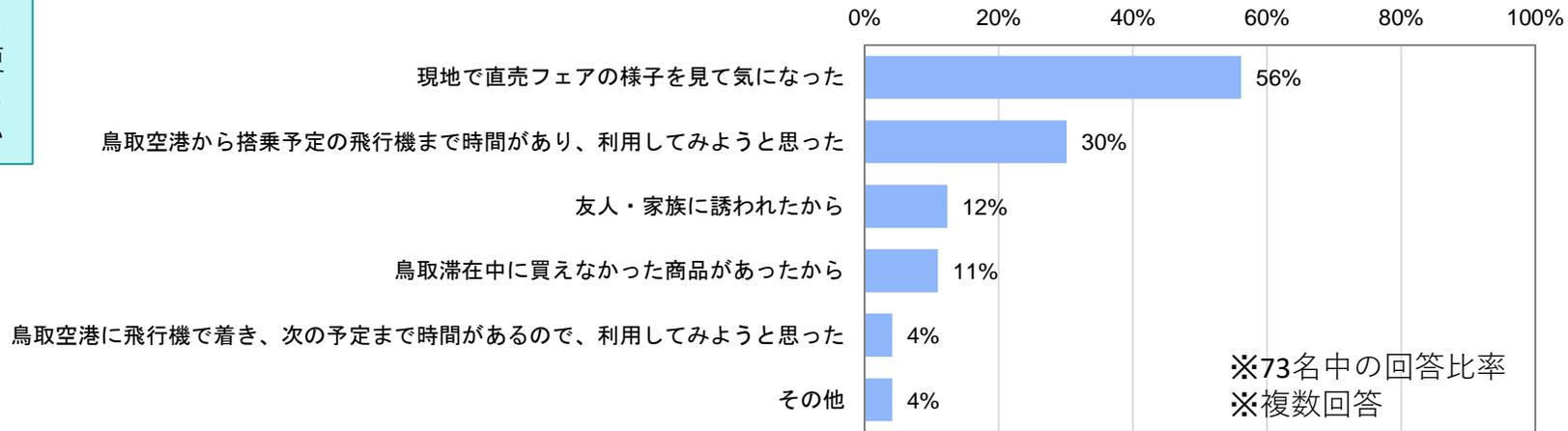


4. 本実験期間中の利用者アンケート調査結果

直売所利用者アンケート結果

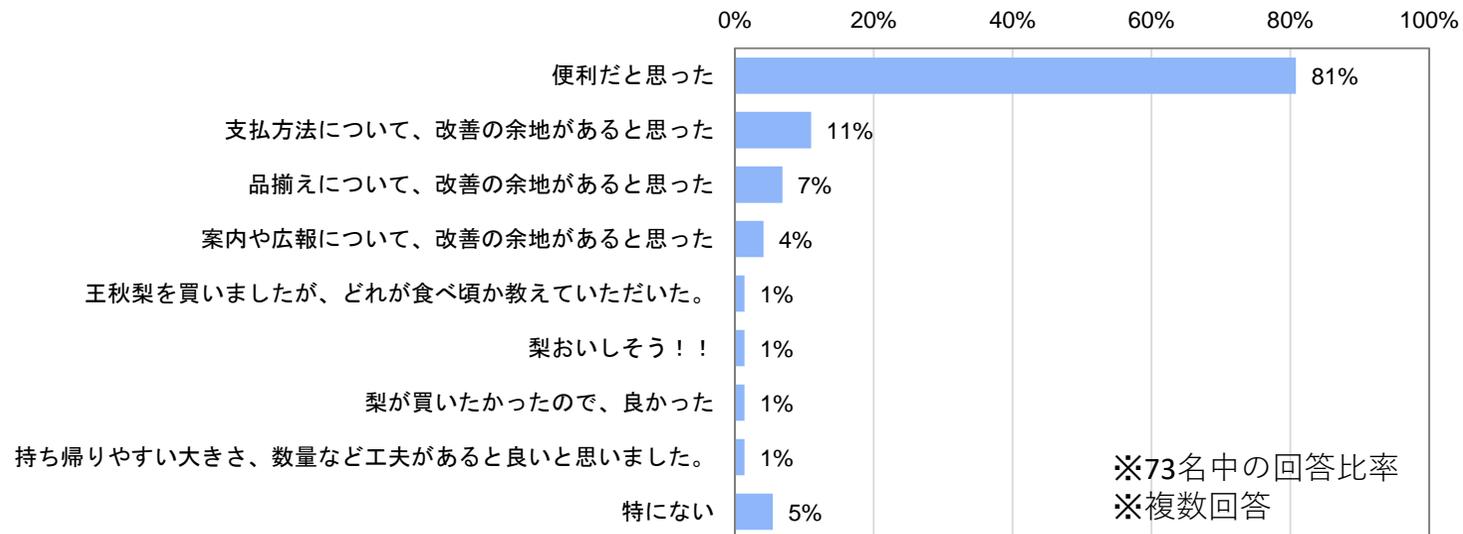
(5) 利用したいと思った理由

- 直売所を見て気になって利用した方、搭乗便まで予定があり利用しようと思った方が多い



(6) 利用した感想

- 便利と思った方が8割と多い
- また、梨が買えてよかったという意見が見られる
- 他に、支払方法や案内、品ぞろえについて改善の余地があると回答している

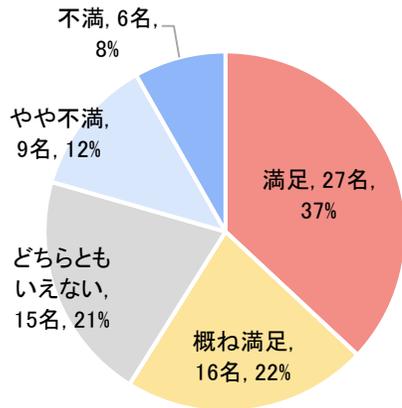


4. 本実験期間中の利用者アンケート調査結果

直売所利用者アンケート結果

(7) 直売所を利用した満足度

- 概ね満足となっている



(8) 自由意見

- 東京でシーズンを終えていた梨について、また品揃えについて意見をいただいている

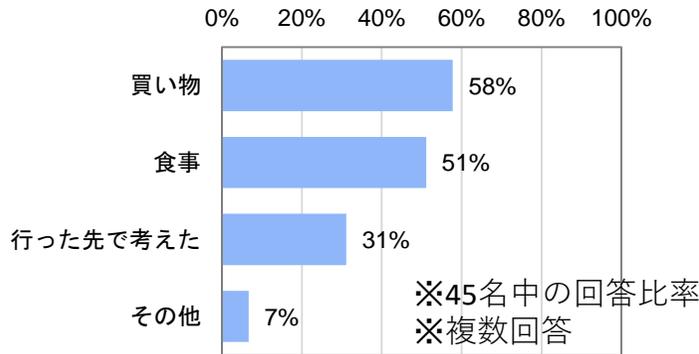
意見分類	意見内容
梨について	なしっこ館で王秋が美味しかったので、どこかで買えないかな~と思っていたら空港でばったり！他よりもお手頃価格で、帰って食べてみてもやっぱり美味しかったので、家族で取り合いになりました！
	鳥取の梨が買えてよかった
	東京はシーズンが終わってしまっていたので梨が購入できて嬉しかった。
	買いたかった梨が買えて大満足ですそしてプレゼントまで頂けたのは最高でした
品揃えに関する意見	もう少し品数を増やしてほしい。
	空港にない地元の特産品があれば買いたかった
	人気のあるお土産のお菓子3種類くらい置いていてくれたら買っていた
	朝どれ野菜などがあれば是非買いたかった
	品揃えがもう少し充実していると良いと思いました。私のお目当ては大山どりでしたので、関連商品がなく少し残念でした。
その他	帰って食べるのが楽しみです。
	ちょっとしたおやつが買いたかったので重宝しました。
	現地の情報を教えてもらった
	品揃えが良くて、色々買いたいと思った！

4. 本実験期間中の利用者アンケート調査結果

無料シャトルバス利用者アンケート結果

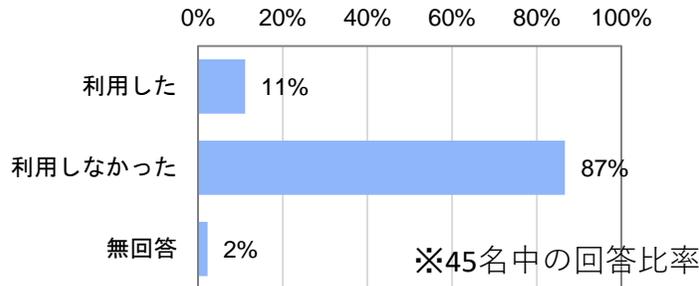
(9) 利用目的

- 買い物、食事の比率が高い
- 行った先で考えたという方も一定数いる



(10) かろいち割引クーポン使用状況

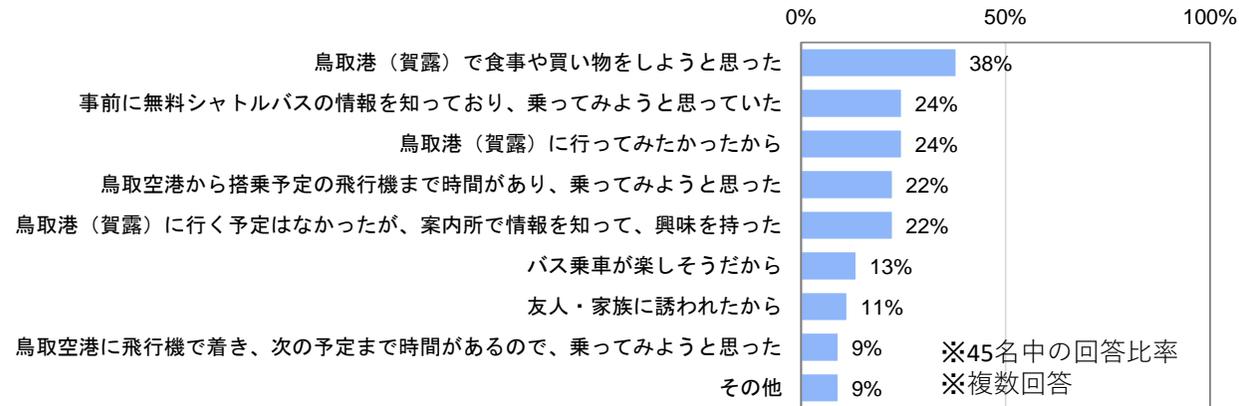
- 利用した方は1割程度



※かろいち割引クーポンは案内所で配布
 ※かろいちでの購入時に1割引きとなるクーポン

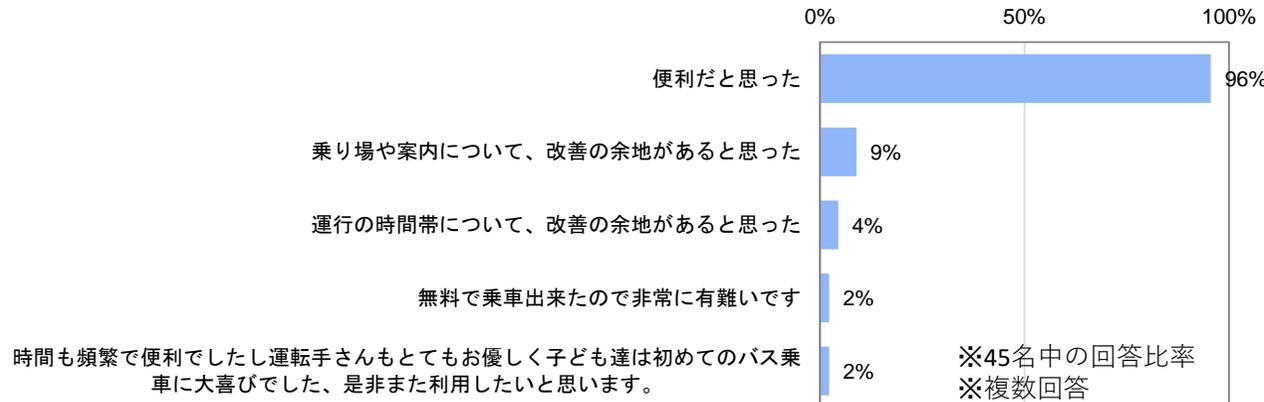
(11) 利用しようと思った理由

- 鳥取港（賀露）で食事や買い物をしようと思った、バスに乗ってみようと思った、飛行機まで時間があつたなどが多い



(12) 乗ってみた感想

- ほぼ全ての方が「便利だと思った」と回答

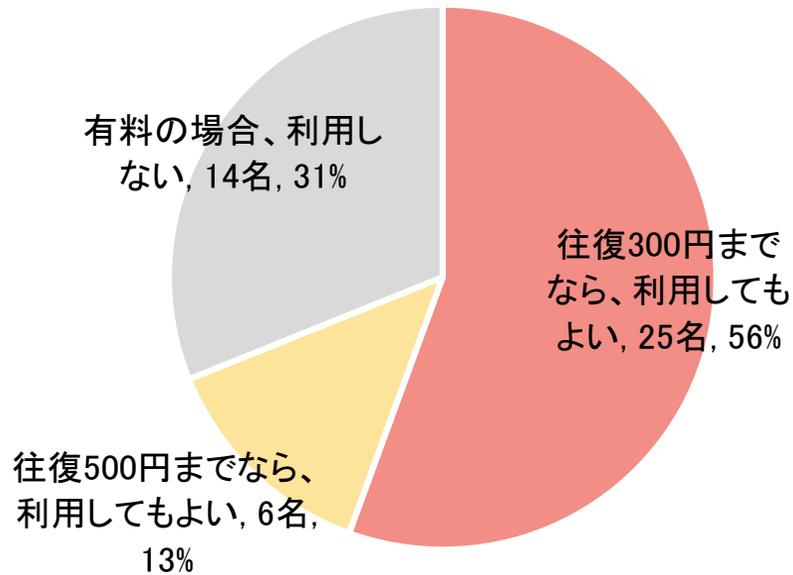


4. 本実験期間中の利用者アンケート調査結果

無料シャトルバス利用者アンケート結果

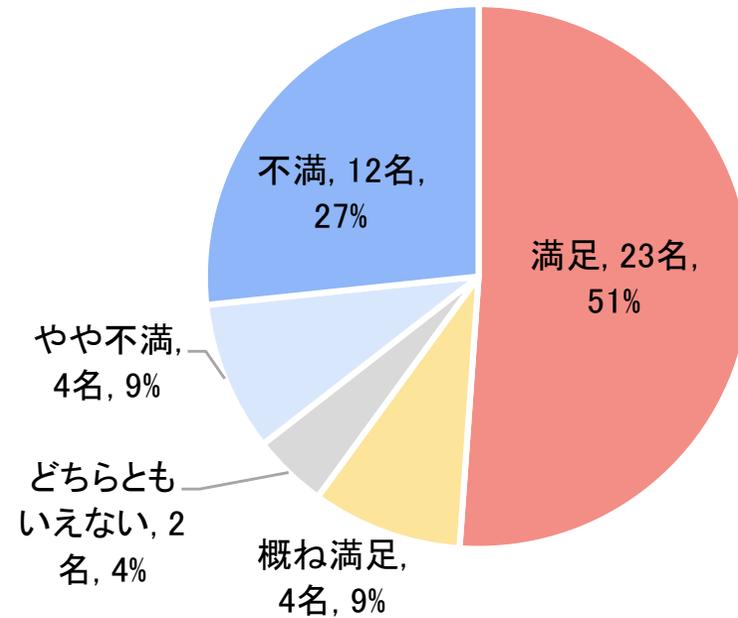
(13) 有料の場合の利用意向

- 往復300円までの利用意向が多い



(14) 無料シャトルバスの満足度

- 満足とする方が半数以上となっている



4. 本実験期間中の利用者アンケート調査結果

無料シャトルバス利用者アンケート結果

- 運行時間帯、乗り場案内、有料化に関する意見があった。その他、鳥取砂丘までの案内に関する意見が見られた。

意見分類	意見内容
運行時間帯、曜日について	12:30～13:00くらいに空港に着く便があったらより良かったです。空港←→直行アクセスで行けるスポットがあり大変助かりました。シャトルバス利用者は荷物を預かってくれるスペースがあったら助かります。かろいち付近にコインロッカーがなくて困りました。
	お昼の時間が長かった
	タクシーでかろいちに行く予定でしたが、バスのおかげで大変助かりました。ありがとうございます。
	チャーター便で鳥取空港に到着したため、鳥取駅行きのちょうどよいバスが無く、寄り道しようと利用させていただきました。その後は路線バスで鳥取駅に行きました。
	素敵な取り組みに感謝しています。小さい車で本数が少なくてもいいので、平日も運行してると更に良かったです。月曜日に他社のバスを利用しましたが、本数がとても少なく不便だったので...
乗り場案内について	港での乗り場がわかりにくかった
	港のバスの停車場所がわかりにくかった
	乗車場所がわかりにくい（2名）
	乗車場所は分かりやすく時間も頻繁で便利でしたし、運転手さんとてもお優しく子ども達は初めてのバス乗車に大喜びでした。是非また利用したいと思います。有料であるとすれば何か小さくても特典があると特別な体験感があり良いのではと感じました。今日とても楽しかったのはバスが便利で親子共々素敵な5分間を過ごせたのが大きかったと思います、ありがとうございました。
	車がなかったので便利だと思った。駐車場の位置が少し分かりづらいと思った(第2駐車場なので)
有料化について	上記に有料についてのアンケート項目がありましたが、有料化してでもバス運行を続けていただきたいと思いました。かろいちで使えるクーポンと往復バス料金がセットになったものなどがあると利用しやすいのではと思います。
	有料の場合は片道ずつ利用料金の設定をしていただきたい。Suica等が使えると便利。
	以前も利用した際、便利でしたので利用しました。今回長期間の運用でしたが、気づくのが遅れたのが個人的に惜しくもっと利用したかったです。鳥取市のイベントラインなどでもシャトルバス情報を流して欲しいです。（見逃していたらすみません）無料じゃなくて良いので、空港起点で砂丘方面などの観光施設にも接続していればいいのになぁと思います。
その他感想	とてもよい、砂丘まで案内があると立ち寄りやすい。
	もう少し優しく運転してほしい
	自転車に来ていて、賀露に飛行機を撮影しに行きたかったのですが風が強くて寒かったので、たまたまバスがあって嬉しかったです。久しぶりの賀露楽しかったです。
	無料シャトルバスがあるのを知らずにTAXIに乗ろうとしていたので空港で案内されて、得した気分になりました。有り難うございます。

シャトルバス運行事業者【日ノ丸自動車】

①シャトルバス運行の評価

- 金土日祝と運行したが、土日は1日30名程度と堅調な利用があった一方、金曜は利用が極端に少なく、土日中心の運行が効果的。
- 今年はねりんピックの鳥取開催で、その時期に予定していた修学旅行などがずれ込み、平日の対応が困難な状況であった。来年も、大阪・関西万博の開催が予定されており、鳥取来訪観光客等への対応が予想される。

②今後の運行について

- バス事業者単独での運行は困難であるが、委託（貸切）の形であれば対応可能である。
- バス運転手の確保を考慮すると、平日よりも土日の方が運転手の確保は容易である。
- 物販の搬送については問題ない。貨客混在で搬送料金を徴収する形は適さないため、現在の方法が良いと思われる。
- 報道でも出ているが、2026年春をめどに、県内のバス車両全てでICカードが導入される予定であり、これとの連携も行っていきたい。

物販提供事業者【株式会社食のみやこ鳥取（地場産プラザわったいな）、賀露中央海鮮市場協同組合（かろいち）】

①物販実施の評価

- 1日3万円強の売上となり、予想よりも売れたと思われる。若干ではあるが、空港で物販を行う売り上げ増の効果もあったと考える。
- 梨やらっきょう、海産加工品など鳥取県の特産物が期間を通して東京からの来訪者に喜ばれた点は新たな発見である。
- シャトルバスでの品物運搬についても、施設側で運搬用の人手を確保するのが困難である中、搬送をお任せできたのは良かった。

②今後の物販実施について

- 空港で港の品物を売ると同時に、港に来てもらい、そこで買い物や食事を楽しんでいただくという活動も重視したい。そのために、空港でのPRの強化、シャトルバスの運行の継続ができると望ましい。
- 空港でのPRの強化については、作業員や販売スタッフの目線での動画を撮影して、空港で流すなどの方法が考えられる。
- 海産物については、港で冷凍ものを取り扱うことは少ないため、冷凍ものについては空港で販売し、空港と港で品物の棲み分けを行うことは可能である。
- GWの期間、11月のかにシーズン、イベント実施時などは、鳥取港は来訪者で駐車場が満車になるため、空港に車を停めて、シャトルバスで鳥取港に来訪するなど、連携は可能と思われる。

運行、物販実績について

【バス運行】

- 土日は1日30名程度で堅調が利用が見られた。10～15時台の利用が主など、航空便の時間帯、観光客の主な移動時間帯で利用が見られる点を確認できた。
- 一方、バス車両で運行するには利用者が十分とは言えず、空港や鳥取港でのイベント開催時、鳥取市や鳥取県を挙げてのイベント開催時等に運行するなどのスポット対応が当面は現実的
- また、鳥取空港から鳥取港までシャトルバスが運行しているという周知、PR、意識づけは今後の課題となる（今後も定期的な運行を行い、何かイベントがある際は、シャトルバスが走っているらしい、と県民、来訪客へ意識づけが必要）
- 物販関連での品物搬送については、有効活用ができたと感じている。生鮮（梨）の毎週の搬入、都度の追加搬入など。

【物販】

- 1日平均3万円強の売り上げがあり、特に県の特産品である梨や海産加工品が主力となった。これらは関東での購入（梨は11月以降は東京のスーパーに並んでいないなど）が難しいもので、関東からの旅行客にとって魅力的であったと考えられる。
- しろいちの割引クーポンについても、バス利用者の1割が利用するなど、配布に一定の効果が見られた。
- 一方、鳥取で梨と並ぶ冬季の主力商品である蟹については、生鮮や冷凍ものの空港での販売が機材調達、人員配置、免許の観点から困難であり、いかに鳥取港に誘導するか、カタログ販売や市場の様子を空港で見てもらうかなどの工夫が今後は求められる。

バス利用者、物販利用者アンケートより

【バス運行】

- 総じてシャトルバスには満足しており、鳥取港に行く予定はなかったが、バスがあったので行ったなどの意見も見られた。
- 有料化の意向としては、往復300円までなら利用しても良いとする意見が多く、有料化しても一定の利用意向があると言える。
- ただし、キャッシュレス決済、ネット上やアプリでの時刻表の案内等、対応すべき課題も多い。

【物販】

- 総じて直売所の内容には満足しており、東京で買えないものがあった嬉しいなどの意見が見られる。
- 一方、空港内で他の売店もあり、その差別化ができればさらに良いなどの意見もある。
- また、今回は実験として現金のみの扱いとしたが、支払方法に関して改善すべきという意見も見られた。

7. 令和7年度の展開：鳥取砂丘コナン空港_共創事業2.0

空港-港間（ツインポート間）の移動,物産,住民,アニメコンテンツの連携

- 令和6年度の共創・MaaS実証プロジェクトを踏襲し、引き続き移動、物産の連携を実施
- 令和7年度は大阪・関西万博での訪日客への対応も意識し、長期間（5月のGW～11月のかにシーズン）に渡り、土日を中心としたシャトルバス運行、物産の実施を目指す
- また、空港での鳥取港のPRの強化、ANAのMaaSアプリ「旅CUBE」、各種観光HP、公共交通に関する乗換案内との連携など、認知度の向上に向けた取組みを強化する

- 想定実施期間：令和7年5月～11月末（主に土日祝で実施）
- シャトルバス運行：10～15時で利用の多く見込まれる時間に集中運行
- 空港直売所：10～16時で東京便の発着に合わせて実施
- 港のPR：従業員目線での動画の展示など、空港でのPRを図る
- 鳥取関連アニメコンテンツとの共創（コナンとの積極共創、交通構築）
- 生活利用も取込むことを目指し、地域住民、商業施設と連携（地域、イオン）



出典：鳥取県HP

令和6年度
共創事業1.0



令和7年度以降
共創事業2.0

物販、輸送（観光）＋地域住民（生活）＋アニメコンテンツの共創事業

- 物販、輸送共創の強化**
 - ・物販実施、シャトルバス継続
 - ・鳥取港のPRの強化
 - ・品物充実（冷凍もの等）
 - ・空港、港のイベント連携
 - ・実施期間の延長による定着
 - ・キャッシュレス化検討
- 輸送強化、生活との共創**
 - ・10～15時で集中実施
 - ・PR、案内等を強化
 - ・乗換案内等での表示の検討
 - ・キャッシュレス化
 - ・運行範囲の拡大（鳥取大学前駅、イオン鳥取北などを視野）
- PR強化、メディア連携**
 - ・港への呼び込みに向けてPR等の協力（動画撮影等）
 - ・空港での販売商品の選別、港との棲み分け
 - ・空港とのイベント連携
 - ・アニメコンテンツの積極活用
- ANA旅CUBEの強化**
 - ・観光客、県民への周知に向けて、各種観光HPや旅CUBEでの案内を強化

資料 4

人流分析の検討結果、次年度に向けた取組みの流れ

P.36～48

1. 検討の考え方

■ 2つの検討軸

ANAの「旅CUBE」での連携を視野に今後もタクシー事業者と調整・協議

① 空港から県内各地の観光地を結ぶ移動手段の確保、提供

目的地ごとの移動量、時間帯を把握し、望ましい移動手段と現在の供給とのギャップ、施策の方向性を整理

② 空港、港、砂丘、駅等を結ぶ移動手段の確保

空港利用者、市民を含め、市内拠点間の移動量より、市内拠点間を結ぶ需要を把握し、既存バスの活用、新規路線の可能性を整理



■ 分析使用データの概要

本日の報告

データ期間	2023年11月の1か月間 (平休それぞれの1日平均移動量)
データ対象	鳥取県内で発地、着地とする移動 ※航空機利用の場合、鳥取空港を発地、着地
把握項目	居住地 (都道府県) 年代、性別 移動の時間帯 移動目的 移動手段 (鉄道、自動車類、徒歩)
データ出所	(株)GEOTRA社より購入 ※auユーザーの移動履歴より取得、日本国民の25%程度が対象であり、携帯のGPSデータを活用した人流データの中でも取得率が高い
データの信頼性	2023年11月の平休別東京利用者数と比較し、実績値と推計値の誤差は1割程度であったため、高い精度と言える

2. 需給ギャップの把握の考え方

基本的な考え方	移動量（需要）とバスサービス（供給量）のギャップを把握し、新たな運行提案につなげる
拠点の設定	既存のバス路線（空港連絡バス、賀露循環、ループ麒麟獅子）を踏まえ13箇所設定
需要の把握	携帯GPSデータから拠点間の移動量（平日、休日それぞれ）を把握
供給の把握	拠点間を結ぶ市内バス路線の運行本数から設定（1便あたり15人として供給量を設定）



需要 > 供給となる
拠点間の移動を把握



来訪者の玄関口、
目的地である
ツインポート
（空港、港）
の活性化に資する
新たな路線を提案

■拠点として設定した13箇所



2. 需給ギャップの把握の考え方

■活用データ仕様

- <活用データ> 携帯GPSデータ (au)
[分析：(株)GEOTRA]
- <集計期間> 2023年11月の1か月間
平日の1日平均のデータと
休日の1日平均のデータの2つ
- <エリア> 鳥取県
- <集計対象エリアの定義> 右図のように定義

■分析内容の照会

○供給（輸送量）の集計方法

バスダイヤ情報から、供給（輸送量）の集計を行う。

<対象のバス>

定義した対象エリア内にある全路線のバス停を対象に輸送量を集計。

<集計方法>

- バス1便あたりの輸送量を「15人 ※1」と仮定し、
 - バスの時刻表から1日あたりの輸送量を算出。
- 計算式：便数 × 15 = 1日あたりのバス輸送量

○需要（移動需要）の集計方法

GEOTRA Activity Dataから、需要（移動需要）の集計を行う。

<集計方法>

- 対象各路線のバス停間の人の移動量を集計し、二次元表にまとめる。
- 車・徒歩・鉄道など、すべての移動を含む形で集計する。



※1 バスのピーク時の輸送量を座席数相当の25人と仮定。
6:00~22:00の「平均移動量/ピーク時間帯の移動量」である0.6を25人に掛け、平均的な輸送量を15人とする。
(平均移動量とピーク時間帯の移動量は、13の対象エリアが収まる範囲内のすべての人の移動から算出)

需要（移動需要）の集計対象は以下のとおり。

条件

13の集計対象エリアのいずれかで15分以上滞在後、次に別の集計対象エリアに15分以上滞在した移動の件数を集計する。
※集計対象エリア以外を経由した場合は対象外

2. 需給ギャップの把握の考え方

○需要ギャップの可視化方法

需要（移動需要）と供給（輸送量）の2つのテーブルを掛け合わせることで、需給ギャップを可視化する。

【需要（移動需要）】

発\着	エリアA	エリアB	エリアC	・
エリアA	—	500名	210名	・
エリアB	190名	—	180名	・
エリアC	240名	10名	—	・
・	・	・	・	・

【供給（輸送量）】

発\着	エリアA	エリアB	エリアC	・
エリアA	—	200名	200名	・
エリアB	200名	—	200名	・
エリアC	200名	200名	—	・
・	・	・	・	・

【需給ギャップ（需要と供給の差分）】

発\着	エリアA	エリアB	エリアC	・
エリアA	—	300名	10名	・
エリアB	-10名	—	-20名	・
エリアC	40名	-190名	—	・
・	・	・	・	・

更なる移動需要の取り込みが見込める

路線はあるが移動需要が少ない

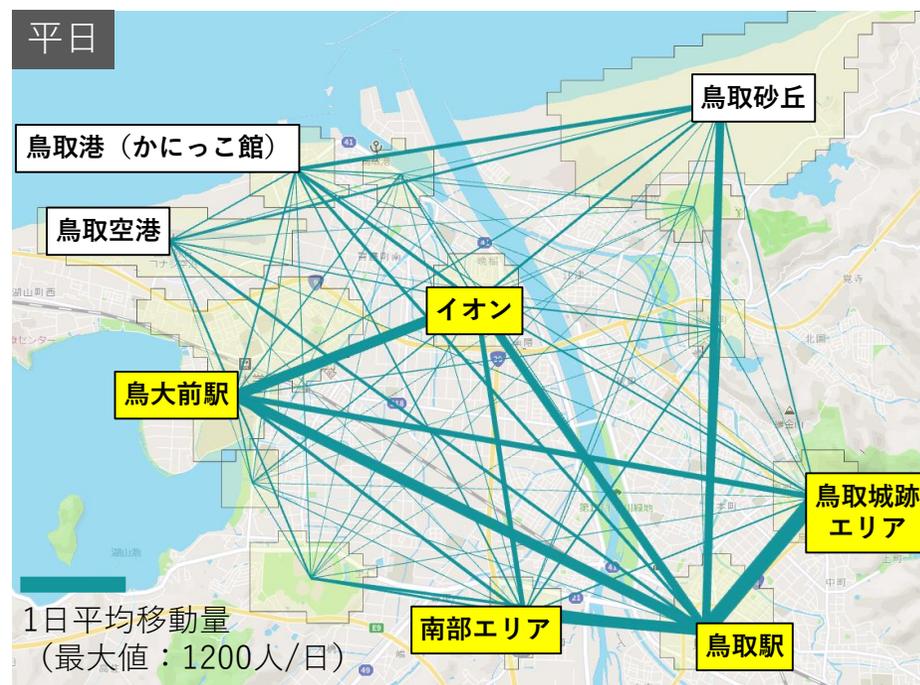
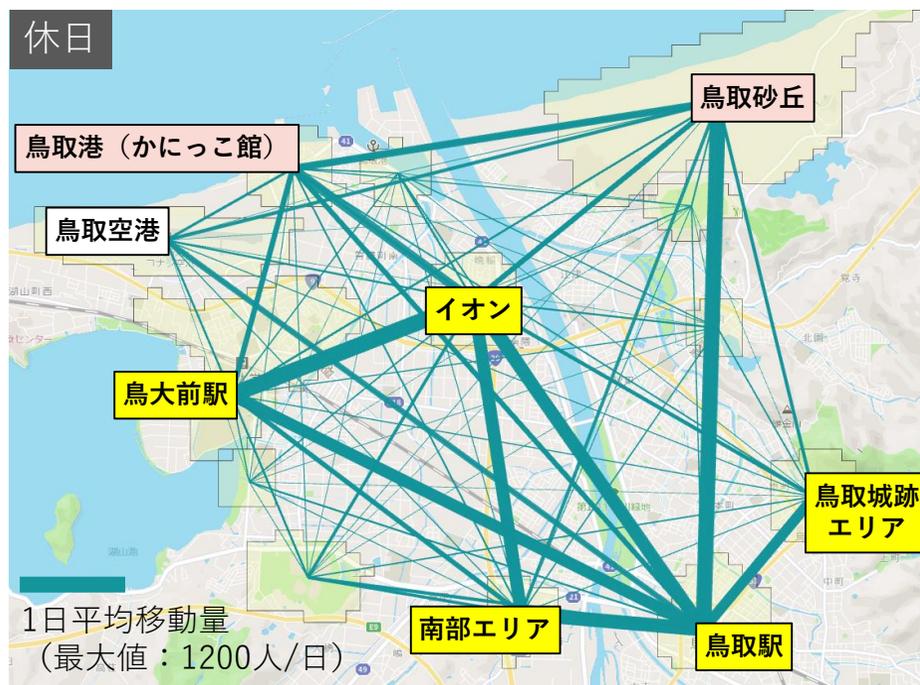
○利用者属性分析方法

GEOTRA Activity Dataで性別・年代・移動目的別の傾向を可視化する。

3. 需給ギャップの分析結果

(1) 需要量 (拠点間の1日平均移動量)

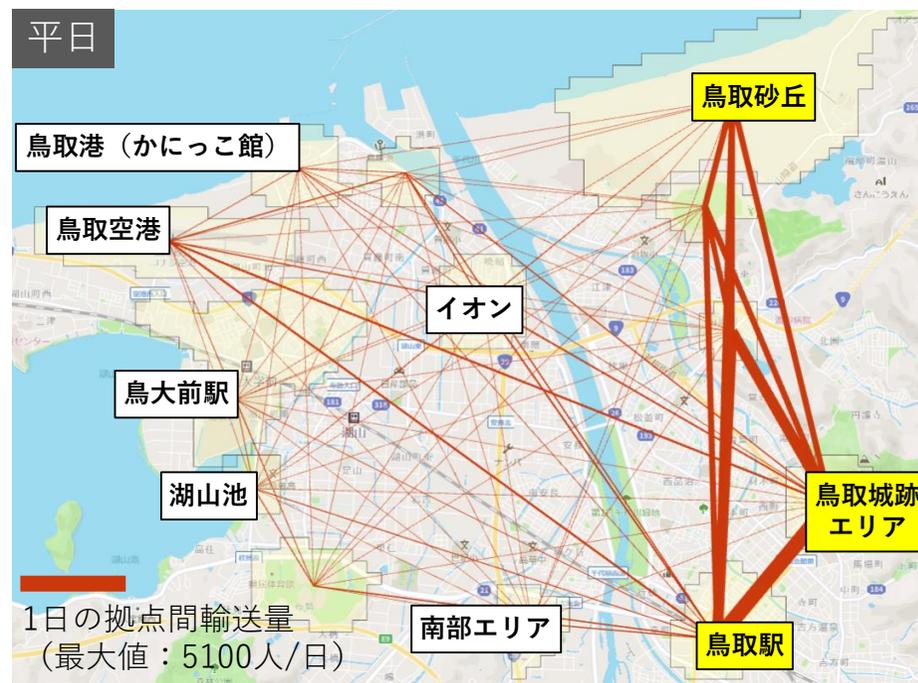
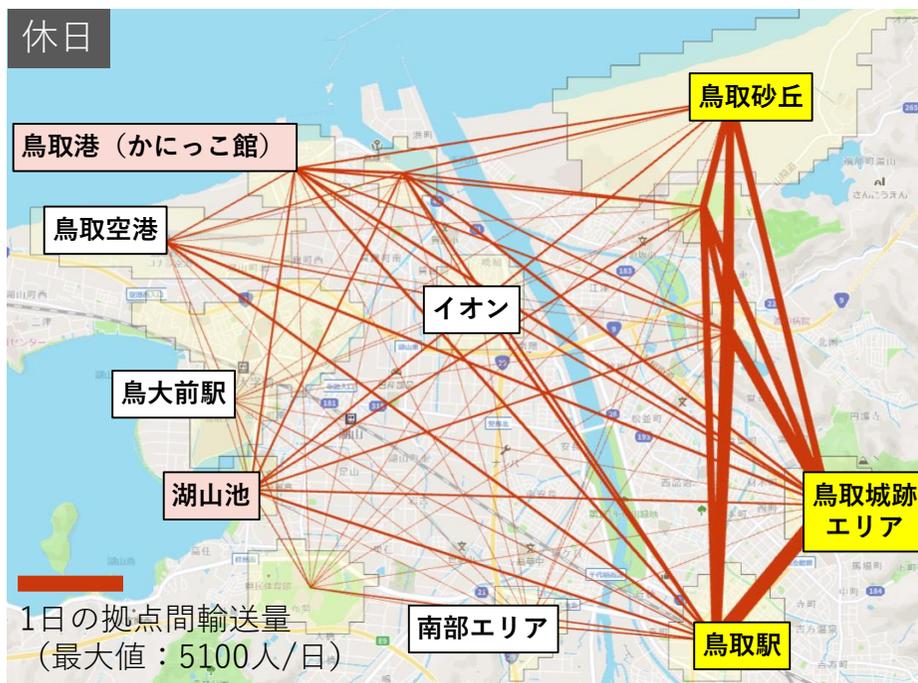
- 平日、休日ともに鳥取駅、イオンモール、鳥取大学前駅、南部エリア、鳥取城跡エリア発着する移動が多い
- 休日は、鳥取砂丘、鳥取港 (かにっこ館)を発着する移動が多くなっている
- 鳥取空港では、休日で鳥取駅との移動が多い他、鳥取大学前駅、鳥取港 (かにっこ館)、鳥取砂丘への移動が見られる



3. 需給ギャップの分析結果

(2) 供給量（拠点間の1日バス輸送量）

- バスの輸送量は、平日、休日ともに鳥取駅、鳥取城跡エリア、鳥取砂丘など千代川より東側での輸送量が多くなっており、イオンモール、南部エリア、鳥取空港方面と言った、千代川より西側は東側と比較して輸送量が少ない
- 休日は、ループ麒麟獅子が運行するため、鳥取港（かにっこ館）や湖山池などでの輸送量が多くなっている

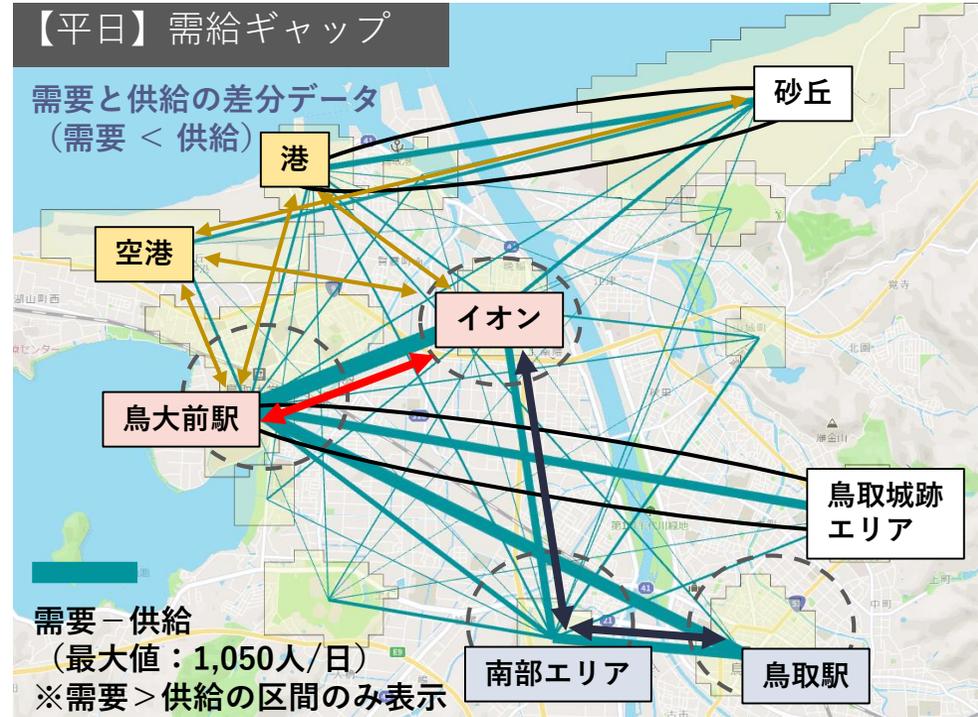
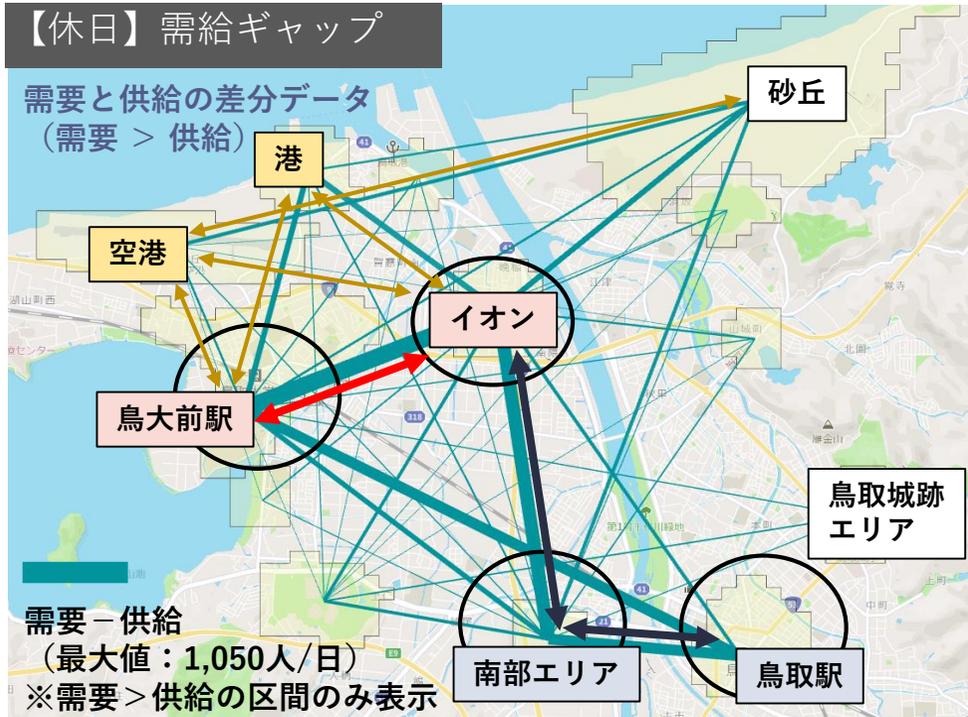


3. 需給ギャップの分析結果

(3) 需給バランス (需要と供給の差分)

- イオンモール～鳥取大学前駅、イオンモール～南部エリア、南部エリア～鳥取駅間の需給ギャップが大きい
- 鳥取空港、鳥取港においても鳥取大学前駅やイオンモールとの区間で需給ギャップが見られる

鳥大前駅～イオンモール鳥取北	平日、休日ともに需要 > 供給 で確かなギャップ (=可能性) が見られる
鳥取空港発着の移動	鳥大前駅との移動での需給ギャップがあるほか、砂丘との移動でも需給ギャップが見られる
鳥取港発着の移動	鳥大前駅、イオンモール鳥取北との移動での需給ギャップが見られる
その他の区間	イオンモール鳥取北～南部エリア、南部エリア～鳥取駅間で需給ギャップが見られる



3. 需給ギャップの分析結果

(3) 需給バランス（需要と供給の差分）

- 休日での拠点間の需給バランスの結果は以下の通り

■ 需給ギャップ（需要－供給）【休日】

出発地	到着地												
	鳥取駅前 バスター ミナル	鳥取城跡 エリア	渡辺美術 館	鳥取砂丘 エリア	こどもの 国	イオン モール鳥 取北	鳥取港 (賀露神 社前)	鳥取港 (かにっ こ館前)	鳥取空港	鳥取大学 周辺	湖山池ナ チュラル ガーデン	鳥取県立 運動公園	鳥取南バ イパス南 部エリア
鳥取駅前バスターミナル		-3,001	-2,467	-786	-1,706	131	-517	-297	-322	632	-397	-73	637
鳥取城跡エリア			-2,459	-1,561	-1,740	-189	-552	-561	-504	40	-360	51	23
渡辺美術館				-1,571	-1,614	83	-318	-352	0	35	-354	4	36
鳥取砂丘エリア					-1,685	317	-352	30	141	91	-360	7	112
こどもの国						37	-360	-328	0	11	-360	0	17
イオンモール鳥取北							-107	144	-165	1,026	53	136	795
鳥取港（賀露神社前）								-525	-210	43	-360	5	24
鳥取港（かにっこ館前）									-125	288	-342	15	66
鳥取空港										93	0	0	31
鳥取大学周辺											-82	-16	254
湖山池ナチュラルガーデン												-110	20
鳥取県立運動公園													152
鳥取南バイパス南部エリア													

イオンモール鳥取北、鳥取大学前駅、鳥取空港、鳥取港間の需給ギャップの合計：1,551人/日

3. 需給ギャップの分析結果

(3) 需給バランス（需要と供給の差分）

- 平日での拠点間の需給バランスの結果は以下の通り

■ 需給ギャップ（需要－供給）【平日】

出発地	到着地												
	鳥取駅前 バスターミナル	鳥取城跡 エリア	渡辺美術 館	鳥取砂丘 エリア	こどもの 国	イオン モール鳥 取北	鳥取港 (賀露神 社前)	鳥取港 (かにっ こ館前)	鳥取空港	鳥取大学 周辺	湖山池ナ チュラル ガーデン	鳥取県立 運動公園	鳥取南バ イパス南 部エリア
鳥取駅前バスターミナル		-3,858	-3,501	-1,284	-1,912	189	-239	132	-379	700	-163	-101	648
鳥取城跡エリア			-3,594	-1,842	-1,920	-325	-270	-54	-546	421	0	17	73
渡辺美術館				-1,693	-1,731	85	0	10	0	51	0	1	112
鳥取砂丘エリア					-1,870	145	8	259	103	56	4	8	37
こどもの国						12	0	16	4	4	0	0	17
イオンモール鳥取北							-194	133	-210	842	51	42	371
鳥取港（賀露神社前）								-51	-264	61	0	0	19
鳥取港（かにっこ館前）									-39	108	24	26	75
鳥取空港										117	0	10	6
鳥取大学周辺											-54	-29	233
湖山池ナチュラルガーデン												-158	19
鳥取県立運動公園													151
鳥取南バイパス南部エリア													

イオンモール鳥取北、鳥取大学前駅、鳥取空港、鳥取港間の需給ギャップの合計：1,200人/日

3. 需給ギャップの分析結果

(4) 需要 > 供給となる移動の属性分析

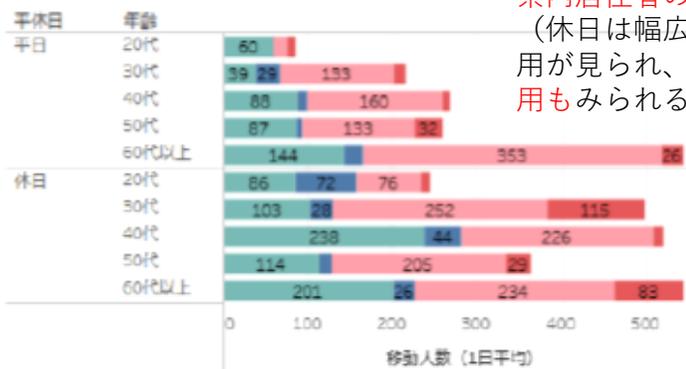
<利用者属性分析その1 (以下のエリアに到着した移動の年代、性別、居住地の傾向)>

- ・イオンや鳥取大駅前には県内居住者の生活利用が多い傾向 (休日には県外居住者の利用も発生)
- ・鳥取空港、カニっこ館は県内・県外居住者ともに移動が発生

→広域の玄関口となる空港とあわせ、鳥大前駅、イオン等を取り込むことで、生活、観光双方での活用の可能性

■イオンモール鳥取北

年代(エリア指定)

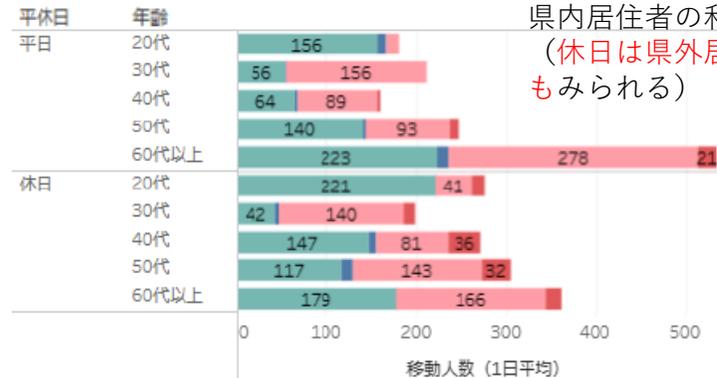


60歳以上の利用が多く
県内居住者の利用が主体
(休日は幅広い年齢層の利用が見られ、**県外居住者利用もみられる**)



■鳥取大前駅

年代(エリア指定)

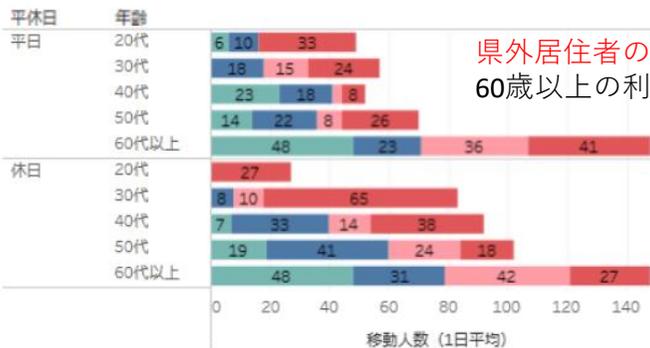


60歳以上の利用が多く
県内居住者の利用が主体
(休日は**県外居住者利用もみられる**)



■鳥取空港

年代(エリア指定)

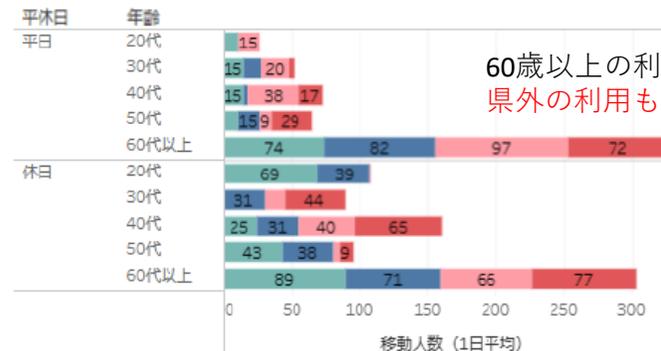


県外居住者の利用が主
60歳以上の利用が多い



■鳥取港 (かにっこ館)

年代(エリア指定)



60歳以上の利用が多く
県外の利用も多い



3. 需給ギャップの分析結果

(4) 需要 > 供給となる移動の属性分析

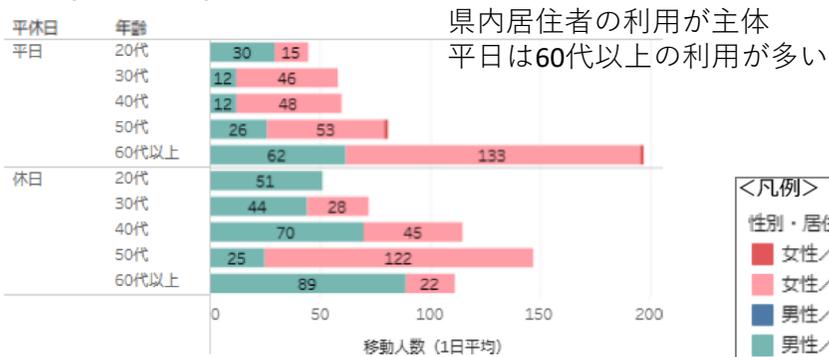
<利用者属性分析その2 (対象エリア間 (矢印の方向) の年代・性別・居住地別の人数分布) >

・鳥取大学駅前→イオン鳥取北の移動は県内居住者の買い物・食事目的移動が主であるが、鳥取港や空港関係の移動については、県外居住者の移動もみられる

→広域の玄関口となる空港とあわせ、鳥大前駅、イオン等を取り込むことで、生活、観光双方での活用の可能性

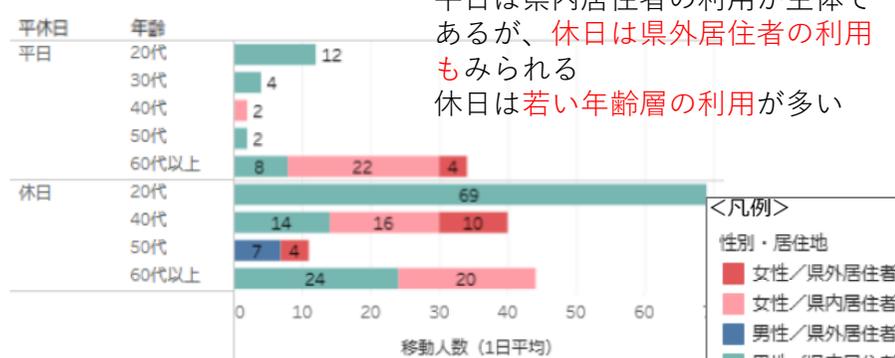
■鳥取大学前駅周辺→イオン鳥取北

年代 (エリア指定)



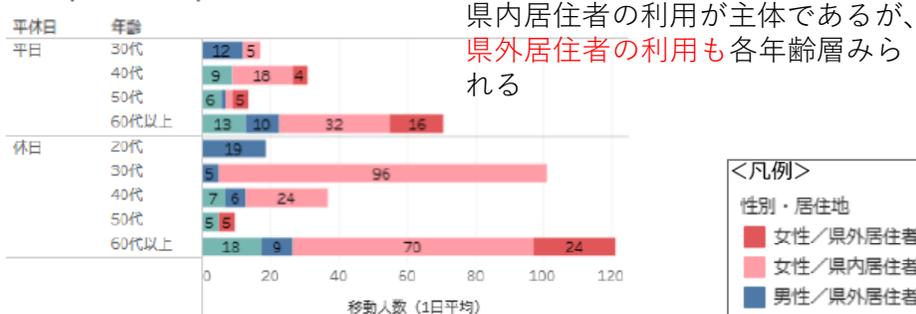
■鳥取大学前駅周辺→鳥取港 (かにっこ館)

年代 (エリア指定)



■鳥取港 (かにっこ館) →イオン鳥取北

年代 (エリア指定)



■鳥取空港→鳥取港 (かにっこ館)

年代 (エリア指定)



4. 施策展開への方向性

需給ギャップの分析結果、玄関口である空港や港の活性化を踏まえ、

鳥取大学前駅～鳥取砂丘コナン空港～鳥取港～イオンモール鳥取北 を結ぶ移動手段の確保を提案

- 上記4拠点間の需給ギャップ：
 - ・ 平日1,200人/日
 - ・ 休日1,550人/日

- 拠点間移動の属性
 - ・ 県内居住者による移動（平日は60歳以上の女性、休日は幅広い年代）が中心であるが、県外居住者による移動も見られる



5. 令和7年度の展開：鳥取砂丘コナン空港_共創事業2.0

空港-港間（ツインポート間）の移動,物産,住民,アニメコンテンツの連携

物販、輸送（観光）＋地域住民（生活）＋アニメコンテンツの共創

■物販、輸送共創の強化

- ・物販実施、シャトルバス継続
- ・鳥取港のPRの強化
- ・品物充実（冷凍もの等）
- ・空港、港のイベント連携
- ・実施期間の延長による定着
- ・キャッシュレス化検討

■輸送強化、生活との共創

- ・10～15時で集中実施
- ・PR、案内等を強化
- ・乗換案内等での表示の検討
- ・キャッシュレス化
- ・運行範囲の拡大（鳥大前駅、イオン鳥取北など）

■PR強化、メディア連携

- ・港への呼び込みに向けてPR等の協力（動画撮影等）
- ・空港での販売商品の選別、港との棲み分け
- ・空港とのイベント連携
- ・アニメコンテンツの積極活用

令和7年度以降
共創事業2.0



鳥大前駅～空港～港～イオン鳥取北を運行（自動運転なども視野に検討）



港情報の積極発信



アニメコンテンツとの積極連携

■ANA旅CUBEの強化

・観光客、県民への周知に向けて、各種観光HPや旅CUBEでの案内を強化

旅行に役立つ情報を集約＆PR！
鳥取県に特化した「旅CUBE for 鳥取」の構築！

STEP1

空港公式ウェブサイトや観光情報サイトなど特定のウェブサイトから旅CUBEへアクセスすると「旅CUBE for 鳥取」に！

STEP2

旅CUBEの画面には特設のバーナーを掲載！

連携先のページでキャンペーンや観光、アクティビティなど情報まとめてチェック！
空港へのアクセスに必要なバス乗降券の購入やタクシーの予約もスムーズに！

資料 5

令和 7 年度の取組方針

P.50～51

出口戦略ごとの取組内容

		検討・準備期間		本格実装・検証期間	
		一部ツール先行実装			
	取組み内容	R5年度 2023	R6年度 2024	R7年度 2025	R8年度 2026以降
「情報」 出口戦略1	情報プラットフォーム（ホームページ）の構築	内容検討 使用システム選定	システム構築 試行期間	実装、適宜改善 二次交通紹介チラシを先行作成	
	各交通事業者、観光地の電子チケットの構築	チケット内容検討 参加事業者調整	システム構築 試行期間	実装、適宜改善 空港イベント等の電子化を先行実施	
	情報プラットフォーム（ホームページ）、観光情報等の周知強化	案内方法、媒体の検討	バナー広告掲載、空港HP改修、PR動画作成・発信		二次交通紹介、空港イベント等のHP案内充実
「移動」 出口戦略2	空港、砂丘、イオン、鳥取大学前駅等を結ぶ8の字循環線の運行	かっこ空港ロードでの試行運行 路線検討	各種協議、申請 準備、実験、一部試行期間	試行運行 本格運行	
	周辺鉄道駅、観光地をターゲットとした定額（又は乗合）タクシーの運行	運行内容検討 参加事業者調整	許認可申請 法定会議	参画事業者によるサービス開始、適宜拡大	
「活動」 出口戦略3	鳥取港（賀露）と鳥取空港の連携強化	連携方法検討	事業者間調整	サービス実装	
	各種観光地での電子チケット・クーポン等の対応	チケット内容検討 参加事業者調整	システム構築 試行期間	参画事業者による試行運用 本格実装	
	UD情報の発信、ANA空港アクセスナビへの反映	空港UD診断 周知方法検討	先行発信	内容充実、拡大	
	空港での食、物産、ワークスペース等の充実	内容検討、早期実施が可能な取組み確認	一部先行実施	内容充実、拡大 食、物産のイベント等の実施、案内充実	

令和7年度主な取組

- 大阪・関西万博2025に合わせて、ANA「旅CUBE」を最大限活用した情報発信、二次交通利用へとつなげる
- 共創事業の活用、タクシー事業者との調整を継続し、万博期間中での空港を中心とした移手段確保を行う

● ANA「旅CUBE」を最大限活かす周知活動の展開
※各観光HPとの連携など

● タクシー電子チケット発行の協議継続
※運転手の意向把握、意気込みのある事業者の取り込み等

● イベント等のPRの継続
● 空港HPの改善の継続（ANA「旅CUBE」との連携等）

● 共創事業を拡張し、空港と鉄道駅、港、イオンモールを結ぶシャトルバスを長期間運行（GW～11月末の土日祝）

● 定額タクシー、乗合タクシーの実施に向けた継続協議

● 共創事業を拡張し、空港での港のPR強化、品物充実を図り、ツインポートでの取組を継続

● ANA「旅CUBE」や各観光HPに対応した観光地の電子チケットについて継続協議

● UD情報の発信内容の改善

● 空港でのイベントの継続、物産の充実

「情報」
出口戦略1

「移動」
出口戦略2

「活動」
出口戦略3

本日、議論したい点

- 空港～港間での輸送、物販の連携について、令和6年度の共創・MaaS実証プロジェクトの結果を踏まえ、PR強化や品物充実、長期間での週末の運行、キャラクター連携などを中心に継続を予定するが、実施に向けたPR面でのアドバイス、関係者で協力できる点はあるか
- ANA「旅CUBE」を来訪者、県民が最大限活用するための仕掛けについて、各関係者で協力できる点はあるか
- 人流分析を踏まえた路線提案（鳥取大学前駅～鳥取砂丘コナン空港～鳥取港～イオンモール鳥取北）に関する意見、可能性など
- 人流分析を踏まえた路線提案に関する懸念点
 - ※運転手不足やバス利用者数の長期的な減少といった課題がある中、既存路線の活用や、共創事業としての取組み（他分野の連携）による実施の可能性や課題について
- 大阪・関西万博2025が今年開催されるに当たり、令和7年度に予定する取組み（前項に記載）以外で注力すべき取組みはあるか